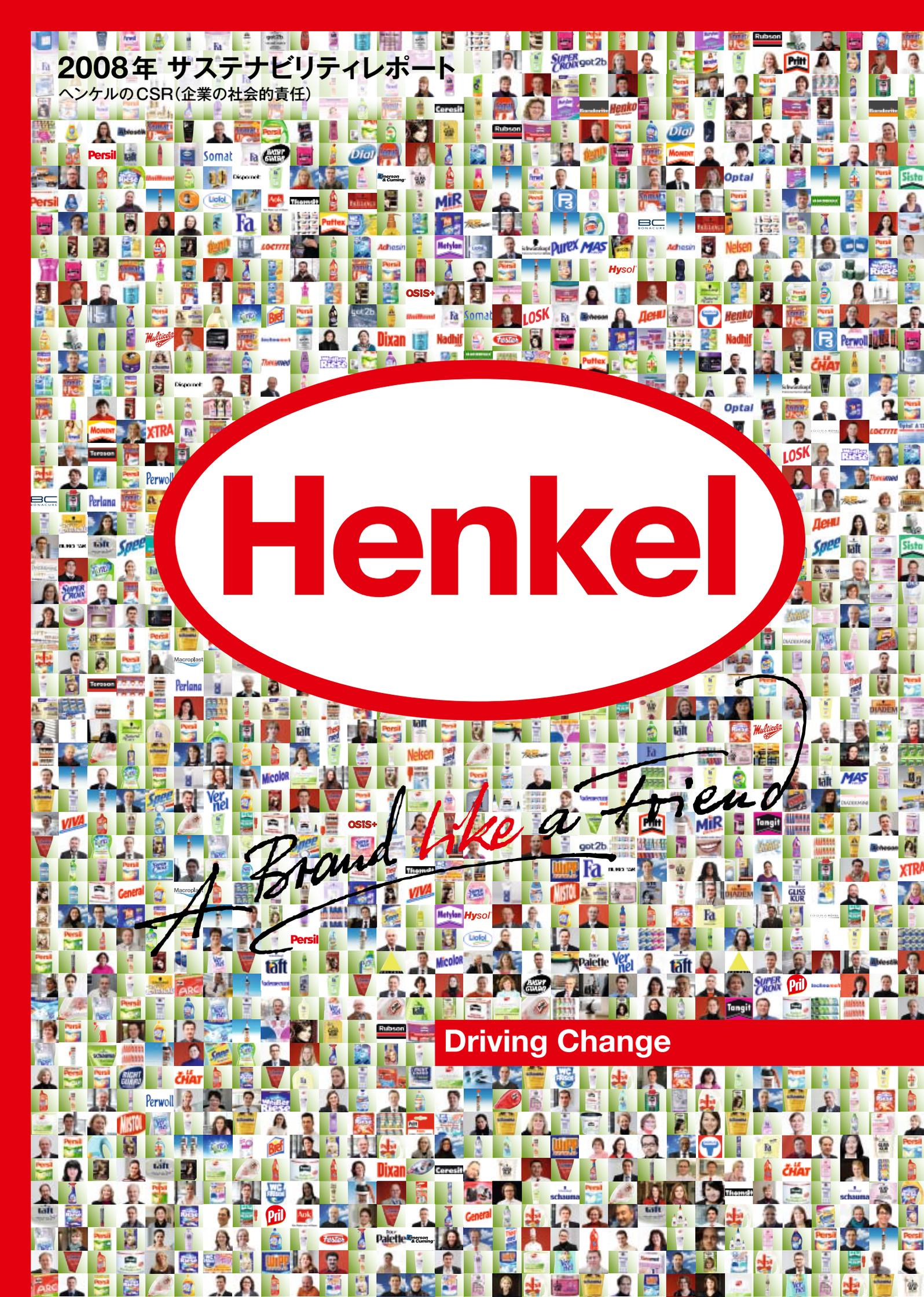


2008年 サステナビリティレポート

ヘンケルのCSR(企業の社会的責任)



Henkel

A Brand Like a friend

Driving Change

ヘンケルの概要

2004年から2008年のサステナビリティの実績

生産1メートルトン*あたりの環境指標

廃水量(COD排出)	-4%	▼
二酸化炭素 (CO ₂)	-6%	▼
エネルギー	-11%	▼
揮発性有機化合物 (VOC)**	-24%	▼
重金属	-29%	▼
廃棄物	-30%	▼
水	-35%	▼
二酸化硫黄 (SO ₂)	-41%	▼
労働災害***	-63%	▼

* ナショナルスターチ事業を含む環境指標 (2008年4月以降)

** ナショナルスターチ事業を除く揮発性有機化合物

*** 労働時間100万時間あたりの労働災害

2004年から2008年の事業の業績

単位：% 指標：2004年



*2008年:一時費用・所得及びリストラ費用調整後の営業利益 (EBIT)

会社概要

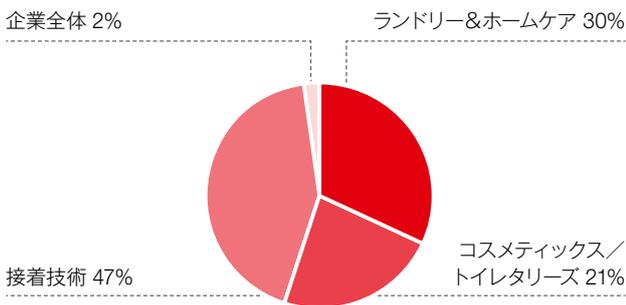
私たちはブランドとテクノロジーを通じて、ランドリー&ホームケア、コスメティックス/トイレタリーズ、アドヒーズブテクノロジー (接着技術) の3つの戦略事業分野で事業を行っています。55,000人の従業員のうち82%以上が、ドイツ国外で採用されています。

2008年、ヘンケルの総売上は14,131百万ユーロとなりました。売上は8.1%増加しましたが、これは既存事業売上と、ナショナルスターチ事業の買収によるものです。営業利益 (EBIT)は779百万ユーロと、前年の1,344百万ユーロを大き

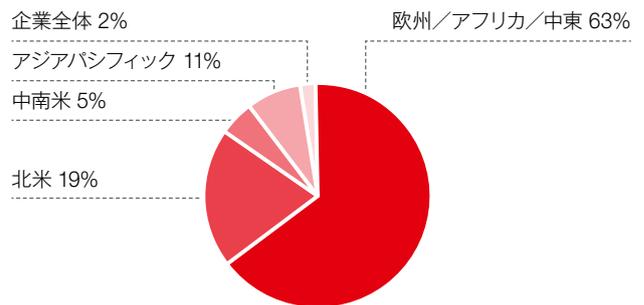
く下回りました。この減少はリストラ費用と、効率強化プログラム、グローバルエクセレンス、ナショナルスターチ事業の統合に関する一時費用によるものです。調整後の営業利益 (調整後のEBIT) は6.6%増加し、1,460百万ユーロとなりました。この数字は、ナショナルスターチ事業の買収によって生じた無形資産の控除分35百万ユーロを差し引いた純益です。控除前では、調整後のEBITは9.1%増加し、1,495百万ユーロとなりました。

AR 36, 38 ページ www.henkel.com

事業部門別の売上



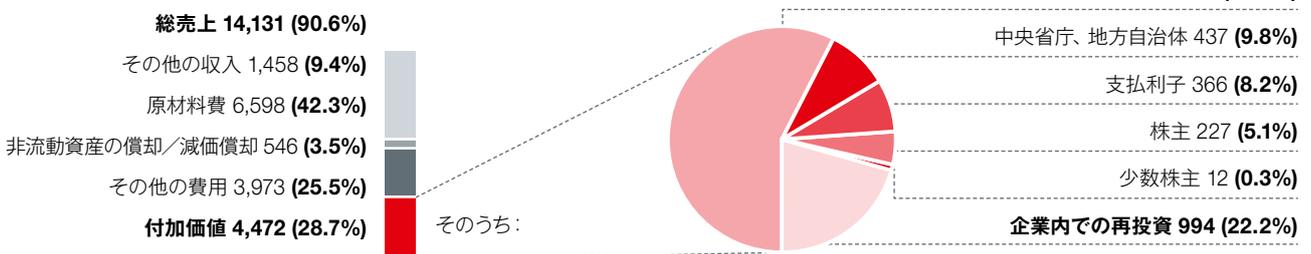
地域別の売上¹⁾



¹⁾ 企業全体の売上には、ヘンケルグループ全体に関わるもの、つまり各事業部門に割り振ることのできない売上及びサービスが含まれる

2008年 付加価値ステートメント

単位：百万ユーロ



目次

本レポートの目的

ヘンケルは1992年に、初めての環境レポートを発行しました。それが後に改良され、サステナビリティレポートとなりました。サステナビリティレポートは年に1度発行され、環境及び社会的なテーマを扱うことで年次レポートを補完しています。企業の社会的責任 (CSR) についての追加情報は www.henkel.com/sustainability 及び [SR](#) 37ページに記載したヘンケルのその他の刊行物でご覧いただけます。

レポートの内容は、私たちが事業活動の中で取り組んでいる、事業に関連する実質的な課題を記述したものです。選ばれたテーマの中には、幅広いステークホルダーと継続して行っている対話の成果もあります。国際的なサステナビリティの専門家との対話、欧州化学工業連盟 (CEFIC) の要求、金融及びサステナビリティ指向の様々な格付け機関の判定基準、そしてGRI (Global Reporting Initiative) ガイドラインについては特に詳細な検討がされています。GRIインデックスの詳細及びリンクはインターネット www.henkel.com/sr2008 →2でご覧いただけます。

サステナビリティレポートは、連結財務諸表に含まれるすべての企業の情報を掲載しています。その中には直接関わりのある企業、また2008年に買収したナショナルスターチ事業も含まれます。掲載例は革新性、妥当性、ヘンケルの取り組みを反映する代表的手法などに基づいて選択されたものです。生産に関連した環境指標は、57の国の生産拠点のデータに基づいて決定されます。これは全世界のヘンケルの生産の95%以上を占めています。労働災害は、グローバルで統一された報告システムを使用して記録されます。このシステムにはヘンケルの従業員の98%まで及ぶ範囲を含めます。ヘンケルは深刻な労働災害でもその期の報告期間内に起きたものであれば、災害とそれに対してとられた対策について隠さずに報告しています。

この度の報告期間は2008年度内です。私たちは、サステナビリティが私たちの事業においていかに重要であることを示す指標として、今期のヘンケル年次レポートとサステナビリティレポートを2009年2月25日に記者発表会にて同時に発表しています。

- 2 序文
- 3 サステナビリティ評議会
- 4 ヘンケルのサステナビリティ戦略
- 5 目標
- 6 バリュー & マネジメント
- 9 サステナビリティのステewardシップ(管理責任)
- 11 サプライヤーとその他のビジネスパートナー
- 12 持続可能な製品とテクノロジー
- 14 ランドリー & ホームケア
- 16 コスメティックス/トイレタリーズ
- 18 アドヒーズ テクノロジーズ(接着技術)
- 20 製造と物流
- 24 環境指標
- 26 社員と仕事
- 30 労働衛生と安全
- 31 社会貢献
- 34 ステークホルダーとの対話
- 36 外部評価
- 37 連絡先、制作者、その他の刊行物

追加情報

2008年サステナビリティレポートの中には、多くの箇所にサステナビリティレポート内の別のページ、年次レポート、インターネット上の詳細情報へのリンクの参照箇所があります。

ヘンケルのインターネットサイト www.henkel.com/sr2008 には「レポート2008の詳細リンク」があります。ここにはすべての参照ページが列記されており、ページにはそれぞれ照会番号がつけられています。クリックするだけで必要な情報のページにアクセスすることができます。さらに、ヘンケルのインターネットサイトでは、1992年以降に発行されたすべての環境レポートとサステナビリティレポートを見ることができ、ダウンロードも可能です。

[AR](#) 年次レポート

[SR](#) サステナビリティレポート

[www](#) インターネット

変化を推進する



Dear Readers,

ヘンケルは130年以上にわたって、持続可能な開発の実現に向けて取り組んできました。サステナビリティは私たちのDNAの一部です。私たちはブランドとテクノロジーを通じて、また一従業員として、次世代の人々の発展の機会をあきらめることなく、現代の人々の要求に応えるよう取り組んでいます。私たちはこの抱負の本質を「品質と責任 (quality and responsibility)」と表現しています。

私たちはバリューチェーン全体にわたって、事業を持続可能で社会的責任のある方法で進めています。これにより企業として素晴らしい評価を得ること、そして世界の市場で主導的地位を獲得しました。この主導的地位を維持し、私たちがサービスを行う市場での地位を広げていきたいと思っています。

経済的に厳しい時期にこそ、持続可能な開発はひとつの機会であると認識することがより重要です。持続可能な開発をするということは、変化の過程を経験することも含むのです。変化を取り入れることはいつも簡単とは限りませんが、会社全体としての責任を果たすため、将来を視野に入れて行動しなければなりません。

毎日、世界中の何百万というお客様や消費者が、ヘンケルのブランドと品質を選んでいますが、私たちの製品と技術は、

社会貢献の中核となるものです。私たちは製品と技術を通じて気候の保護、資源の維持、社会的進歩を支持しています。サステナビリティに注力し続けることは、企業の長期的価値が高くなると確信しています。ヘンケルの新製品はすべて、私たちの注力分野であるエネルギーと気候、水と廃水、原材料と廃棄物、安全衛生、社会的発展のうち少なくとも1つにおいて、持続可能な開発に貢献しています。

私たちは会社全体として、世界規模で持続可能な開発の実現に向けて努力を続けます。世界中の55,000人の従業員ひとりひとりが、自分の力の及ぶ範囲内で、この努力に対する責任を負い、また3つの戦略プライオリティである「事業の最大限の可能性を追求」「顧客第一主義」「グローバルチームの強化」の実現にも大きく貢献します。

私たちの目標は、産業分野のお客様、小売店、消費者と密接に協力して事業を行い、サステナビリティに向けて変化を推し進めることです — 世界中で、今日も明日も。

カスパー・ローステッド
経営委員会会長

サステナビリティ評議会



サステナビリティ評議会のメンバーは、ヘンケルのすべての地域から集まっています。評議会は、ヘンケルのワールドワイドなサステナビリティ活動の舵をとるグローバル意思決定機関です。メンバーは(左から右へ)ディルク・ステファン・コーダイク、アンドレアス・ブルーンス、ロルフ・シュラー、エルンスト・ブリモシュ、カスパー・ローステッド、クリスチャン・アンドレ・ワインバーガー、トーマス・ミュラー・キルシュバウム博士、ティナ・ミュラー、トーマス・フォルスター、アツティリオ・ガッティ、ラモン・バカルディット博士 [SR](#) 6, 7ページ www.henkel.com/sr2008 →3

2008年の私たちの活動は、主に事業の運営とお客様、そしてお客様に関連したコンセプトにおいて、サステナビリティの推進を続けることを目的としてきました。私たちは組織的に、全社でイノベーションプロセスを標準化し、その中で注力すべき分野に重点を置くようにしました。注力すべき分野が最初からイノベーションプロセスに組み込まれているからこそ、責任を果たすことができると分かっているからです。すべての新製品は、少なくとも1つの注力すべき分野で持続可能な開発に貢献しています。

2008年の取り組みは、新しい家庭用クリーナーブランド Terra Activの発売、エコサートラベルをつけた初めてのコスメティックブランド、金属下処理製品の Bonderite NTのドイツ産業連盟(BDI)の環境賞の受賞という、目に見える結果を出すことができました。

2008年はサステナビリティマネジメント全体でも、外部に認められました。12月に第1回ドイツサステナビリティ総会(German Sustainability Congress)において「ドイツで最も持続可能なブランド」として表彰されました。

2008年度全体では、エネルギーと原材料の価格高騰により、私たちは2012年までに水の消費、エネルギー消費、

廃棄物を削減するという全社的なサステナビリティ目標の追求を続けるという決意を固めました。すべての事業分野で、この目標を達成するプロジェクトがスタートしています。この目標の達成は、現代技術によって既に高い効率性で運営されている拠点には難しい課題を課すこととなりました。ここで従業員のスキルと創造性が、大きな役割を果たします。世界的なリストラプログラムとナショナルスターチ事業の統合も、従業員と会社に大きな課題を提示しています。

サステナビリティレポートでは、2008年の主な進歩について紹介しています。2003年に国連グローバルコンパクトに参加して以来、私たちのサステナビリティレポートは、必要とされる年次中間報告書の基盤としての役割を果たしています。

2009年には、私たちはサステナビリティ・リーダーシップを今後さらに拡大するため、たくさんのことを率先して行います。特に、水、教育、持続可能な消費の分野に注力します。私たちはお客様と消費者に、今後さらに効果的に品質と責任の組み合わせがもたらす付加価値を伝えたいと考えています。供給とバリューチェーンを通じて透明性を持って、さらなる改善を続けることが第一優先順位の1つなのです。

ヘンケルのサステナビリティ戦略

注力分野

私たちは事業活動と製品を通じて、持続可能な開発に重要な貢献をしています。



エネルギーと気候

» 私たちはエネルギー源をより効率的に活用し、その結果気候を保護します。



水と廃水

» 私たちは世界中で利用できる水資源を節約します。



原材料と廃棄物

» 私たちは利用可能な原材料をより効率的に活用し、無駄をなくします。



安全衛生

» 私たちはお客様、消費者、従業員、近隣住民のために、安全で衛生的な環境をつくる手助けをします。



社会的発展

» 私たちは従業員、お客様、消費者、そして私たちが事業を行うすべての国の社会的発展をサポートします。

www.henkel.com/sr2008 → 4

私たちはコーポレートバリューの中で、サステナビリティと企業の社会的責任への献身を宣言しています。私たちにとって決め手となる要因は、売上と利益をどのように生み出すか、そしてバリューチェーン全体で、常に責任を持って行動するということです。この基本姿勢は私たちの企業の歴史、ひいては言動の指針にしっかりと根づいています。これは企業として素晴らしい評価を得ること、そして世界の市場でトップの地位を獲得するのに役立ってきました。

持続可能な開発の課題は事業運営と結びついているため、私たちはバリューチェーン全体を通じたすべての活動において、その課題に組織的に取り組んでいます。私たちはこれらのサステナビリティの課題を、5つの包括的な注力分野に分けました。私たちのすべての行動の中心となるのはビジョン&バリューです。私たちは事業活動と製品によって、この5つ

の注力分野それぞれに貢献したいと考えています。この考えから、私たちは新しくより機能的な製品を開発するときは、その最高性能が人と環境に対する責任に結びついているものにします。また、私たちの取り組みに沿って、すべての新製品がこれらの注力分野のうち少なくとも1つで持続可能な開発に貢献しているのもこのためです。私たちはこれらのイノベーションの付加価値を理解し、その価値を認めてもらうために、お客様及び消費者と密接に連携しています。

ヘンケルが「環境保護と安全の原則と目的」の中で、職場の健康と安全の促進、資源の保護、排出削減を宣言したのは、遠く1980年代にさかのぼる出来事です。以来私たちは、企業及び事業所レベルでこうした目標を常に更新し、改善を続けています。1998年から2007年までの過去10年間だけで、労働災害を86%減少させたほか、水の消費を48%、

私たちの言動の指針

ヘンケルでは、経済、エコロジー、社会的責任のバランスをとることの必要性は常に最優先事項です。この基本姿勢は1876年の創業以来、私たちのDNAの一部となっています。

- » 1876 フリッツ・ヘンケルがドイツ・アーヘンでヘンケル&シー社を設立：最初の製品は強力な「ユニバーサル」粉末洗剤でした。
- » 1878 会社をアーヘンからデュッセルドルフに移転

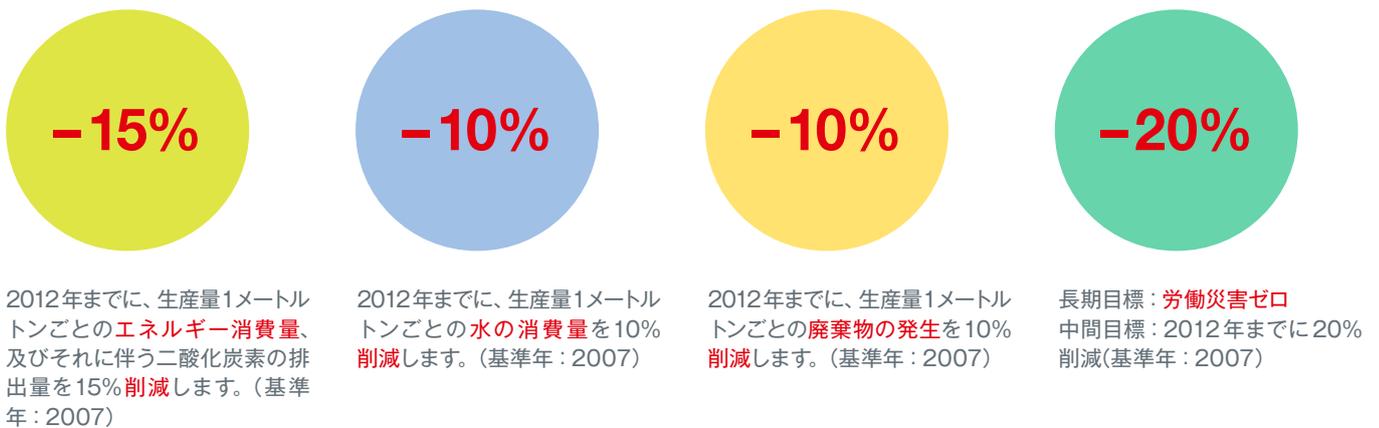
- » 1907 最初の自己活性洗剤、Persilの誕生
- » 1911 初の社宅をデュッセルドルフに建設
- » 1917 従業員による初の労働者評議会選出
- » 1934 組織的な事故防止により、従業員100人当たりの事故数が1927年の10件から4件まで減少
- » 1940 デュッセルドルフサイトに託児所を設立
- » 1953 洗剤の生分解性についての研究を開始

- » 1969 溶剤を含まないスティックのり、Prittの発売を開始
- » 1971 中央環境・消費者保護部門を設立
- » 1980 製本、包装、ラベル貼付用の、水溶性でリサイクル可能なホットメルトを新発売
- » 1986 リン酸塩を含まないPersilを新発売
- » 1987 ドイツのシュワルツコフの全生産ラインで、CFCを含まないエアロゾルに切替

エネルギー消費を40%、そして廃棄物の発生を37%削減しました。エネルギー消費の削減のおかげで、二酸化炭素の排出も33%削減することができました。

2007年までに達成した成果に基づき、私たちは、2012年までの今後5年間にわたる企業全体の目標を設定しています。

目標



これらも私たちの取り組みの中心です：

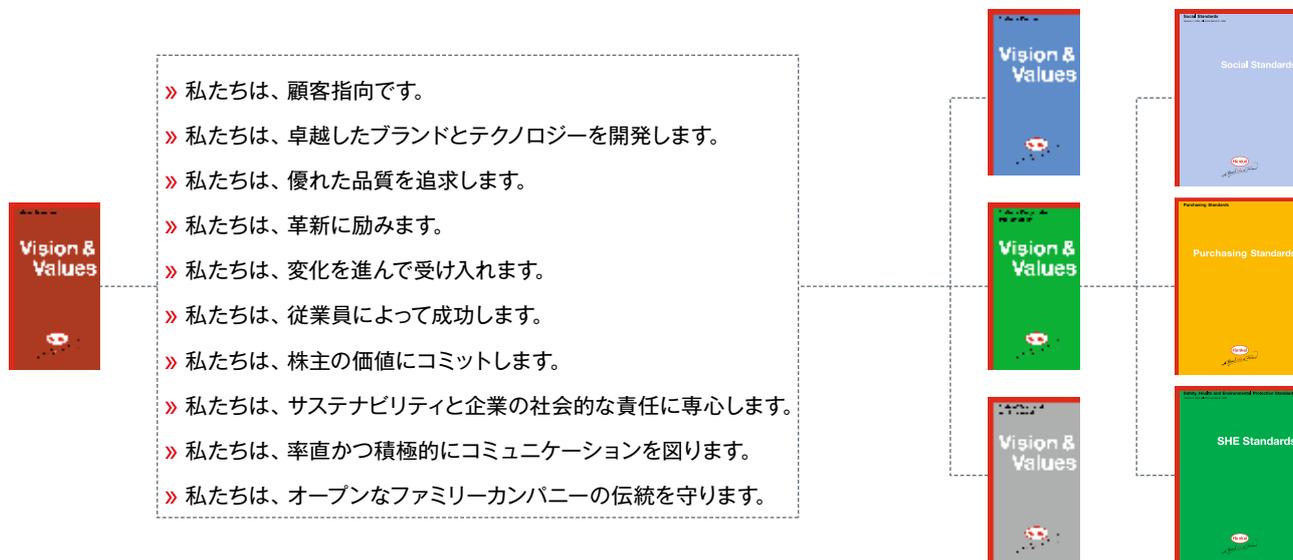
- » 新しい商品 はすべて、少なくとも1つの注力分野で、持続可能な開発に貢献します。
- » すべての従業員は、自分の業務において適任であるよう、研修及び継続的な教育を受けます。
- » 私たちの戦略におけるすべての**サプライヤー**は、企業倫理の面で私たちの期待に応えます。

- » 1991 ドイツの産業企業として初めて「持続可能な開発のための産業界憲章」に署名
 - » 1993 植物のみを原材料として使用した初めてのヘアカラー「Poly Nature Color」を発売
 - » 1995 「環境保護と安全の原則と目的」の改訂版を発行
 - » 1996 溶剤を含まない初めてのフロア用接着剤「Thomsit T450 Futura」を発売
 - » 1997 総合管理システム及び安全衛生と環境（SHE）基準を導入：SHE 監査を世界で開始
 - » 1998 従業員によるMIT活動のサポートを開始
 - » 2001 ヘンケル125周年を記念し、53カ国で125のMIT子供プロジェクトをサポート
 - » 2003 国連グローバルコンパクトに参加
 - » 2006 SHE基準を拡大し、企業購買ガイドラインと社会基準にも対応
 - » 2008 ランドリー&ホームケア事業部門で、グローバルで「品質と責任」イニシアチブの開始
- www.henkel.com/sr2008 → 5

バリュー & マネジメント

ビジョン、バリュー、行動規範と基準

ヘンケルはブランドとテクノロジーを通じて、人々の暮らしをより便利に、より良く、より美しくするリーディングカンパニーです。



www.henkel.com/sr2008 → 6

- » グローバルで有効な行動規範と基準
- » コンプライアンス活動の全社的な実施
- » 行動ルールの適合性をチェックするための監査

世界レベルでの行動規範と基準

私たちのビジョンと10のコーポレートバリューから、私たちは一連の行動規範に特化した、グローバルに拘束力を持つ行動ルールを作成しました。運営するすべての事業分野と文化で、55,000人を超える私たちの従業員の行動と活動についてのガイダンスが定められています。「行動の規範」には全般的な企業方針と行動のルールが記載されており、従業員が倫理的、法的な問題に直面した際、正しく適切に対応するのに役立ちます。「チームワークとリーダーシップの規範」には、全レベルのマネジャーと一般スタッフの行動ガイダンスが記載されています。

「サステナビリティの規範」には、持続的な事業活動と企業の社会的責任についての私たちの方針と予測が記載されています。これは全社的な基準を具体的に形にしたものです。安全、衛生、環境の基準の他に、社会基準、購買基準も記載されています。これは、経済協力開発機構（OECD）の多国籍企業ガイドライン、社会的説明責任基準（SA8000）、

国際労働機関（ILO）ガイドラインから抜粋した主要な要件をまとめたものです。

行動規範と基準はともに、ヘンケルの国連グローバルコンパクトイニシアチブ実施の基盤となっています。

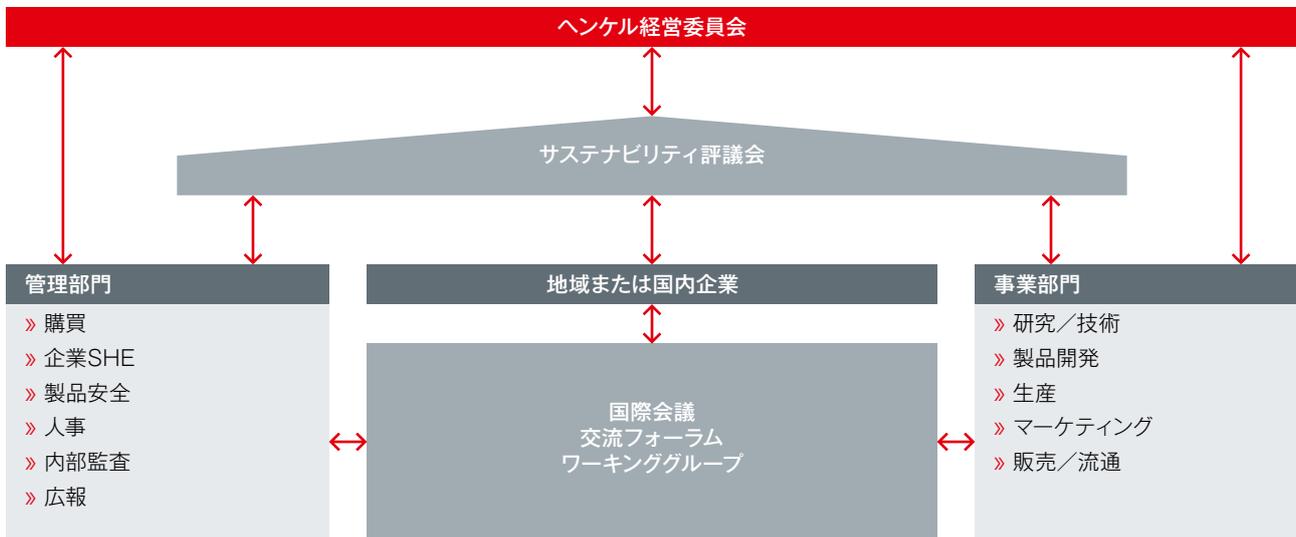
www.henkel.com/sr2008 → 7

責任を明確に定義する

グローバルに適用される私たちの行動規範と基準は、総合的なマネジメントシステムと責任が明確に定義された組織構造に支えられています。ヘンケルの経営委員会はサステナビリティの方針全体について責任を持ちます。経営委員会委員長が指揮をとり、ヘンケルの全ての拠点からメンバーを集めたサステナビリティ評議会が、私たちのグローバルサステナビリティ活動を進めます。SR 3, 7ページ

2007年に、ヘンケルは以前に分散したコンプライアンス部門を統合し、最高コンプライアンス責任者を指名しました。責任者は企業レベルでのコンプライアンス活動を統率し、行動規範と基準を適用し、継続的に発展させる手助けをしています。さらにその実施と、外部及び内部からの要求への準拠を監視し、報告しています。国際監査部門が責任者のサポートをし、直接報告を行っています。

サステナビリティの組織



www.henkel.com/sr2008 → 8

2008年、最高コンプライアンス責任者は引き続き世界的に組織を拡大し、コンプライアンスの責任が国際レベルで明確に定義されるようにしました。拠点ごとに指名されたコンプライアンス責任者は、情報がスムーズに流れるようにし、要求には応え、実行するようにします。また地域の課題に沿った研修コースも開催します。

要求を明確に伝える

ヘンケルは様々な市場と地域で、様々な法体制、社会的水準、慣習のもとで業務を行っています。従業員にコーポレートバリューと行動ルールを一様に理解してもらうため、各国の人事及びコミュニケーション担当スタッフは、それに適した研修とコミュニケーションアクティビティを開発しました。例えばアメリカでは、すべての新入社員は必ず「行動の規範」についてのインタラクティブオンライン研修コースに参加することになっています。世界中のトップマネジャーは、内部監査部門が主催する定期セミナーで、ヘンケルの企業基準について詳しく学びます。さらに社内報の記事でも、行動ルールとその会社にとっての重要性を詳しく説明しています。特定のグループを対象としたニュースレターも、知識の伝達に役立っています。2008年には、主に安全、環境、

衛生問題 **SR** 21 ページ 及び独占禁止法と汚職防止を対象とした研修が行われました。

昨年、ヘンケルが事業を行うすべての地域の3,000人以上の従業員が、独占禁止法についての研修を受けました。さらに、ヘンケル・グローバル・アカデミー、マネジメントセミナー、そして新マネジャーの公式歓迎セミナーにも、コンプライアンスが題材として取り入れられました。

「行動の規範」を補足する具体的指示

2008年11月、ヘンケル経営委員会は「行動の規範」の補足の詳細ガイドラインを承認しました。これらのガイドラインは、事業における利害の衝突、贈答品、個人的な接待などに関する状況への処理の仕方を従業員に指示するものです。

コーポレートガバナンス

Henkel AG & Co. KGaA は、特に会社の法的形式と会社定款に特化した部分を考慮し、3点を除いてドイツ・コーポレートガバナンスコードの主な勧告に従いました。

コンプライアンス宣言の詳細や報酬レポートなどの追加情報は、年次レポートとインターネットに掲載されます。 **AR** 18 ~ 29 ページ

www.henkel.com/sr2008 → 9

またこのガイドラインでは、贈収賄と好ましくない商取引を、いかなる形であっても厳しく禁じることを強調しています。このガイドラインは世界中のヘンケル従業員に配布されました。ガイドラインの目的は、特に日常的に起きる状況で決断を下す際に、具体的なサポートと信頼できる指示を与えることです。

規則の違反には一切許容なし

ヘンケルの利益は、規則や規定の違反からは決して生まれません。私たちは定期的に監査を行い、規範が生産及び管理部門で実行されているか確認します。そして、請負業者や物流センターについても監査を行う場合が増えてきています。監査はリスクと改善の可能性を見つけ出す重要な手段であり、情報の伝達に重要な役割を果たします。

社内監査部門による監査において、2008年には財務、購買、販売/流通、マーケティング、IT、生産部門の従業員が、プロセスとワークフローをより安全で効率的にするため、約1,800件の個別対策に同意しました。特に安全、衛生、環境に特化した監査が21の拠点で行われ、266の拘束力のある是正措置がとられました。同意を得た対策の実行と、ベストプラクティスの例の広範囲への伝達は、監査役によって進められ、監視されます。監査に加え、特定の調査(「生産におい

て特に危険なプロセス」の考察など)の結果によって、改善策とプログラムが必要な地域を特定します。

2007年から、コンプライアンスホットラインによって、報告とクレームの伝達ルートが増えました。従業員はコンプライアンスホットラインで、行動規範と基準への大きな違反を報告することができるようになります。このホットラインは個別の外部プロバイダーによって運営されています。具体的には、問題がそれに関わる従業員やその上司によってすぐに解決されないときにこのラインが使われます。しかし、確立された社内報告ルートと、社内の直接連絡窓口の方が、ホットラインに比べてはるかに頻繁に使用されていることも、定期調査で明らかになっています。

行動規範と基準への違反は、徹底的に調査されます。その性質と重要性によって、関わった個人に対して大きな懲罰が与えられる場合もあります。2008年には、重大な違法行為に対して、書面での警告及び36件の解雇がありました。



ヘンケルの社会的基準

1994年から、私たちは使命と企業理念において、責任を持って企業方針に社会的価値を取り入れることに取り組んでいます。2000年に「行動の規範」を導入したとき、また2003年に国連グローバルコンパクトに参加したとき、私たちは人権保護を支持することをはっきりと強調しました。2006年に発行した「社会的基準」には、私たちが支持する具体的な事柄が記載されています。

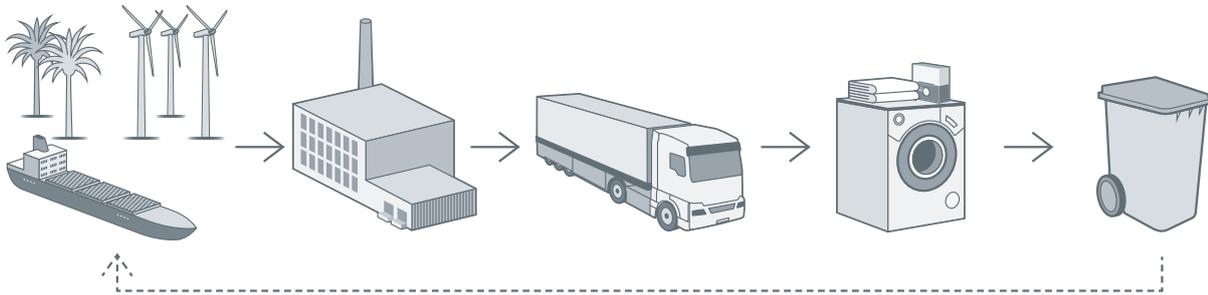
2008年には、選抜した新興国と産業発展国で「社会的基準」に関連した地域での課題について、ゼネラルマネジャーと人事による話し合いが行われました。特に新興国において、国の法令への最低限の社会的基準の反映が著しく進んでいることが明らかになりました。一週間の労働時間など「社会的基準」のたくさんの必要事項は、現在法律で規

制されています。結社の自由、人材開発、機会均等などその他の必要事項は、たくさんの人事文書によって私たちの企業文化の中にしっかりと根付いています。例えば従業員の約75%の利害は、労働者評議会、自主労働組合、またはそれに類似する団体に支えられています。従業員代表がない、または任命されていない国では、開かれた意見交換にするため、従業員との対話は自主的に、または非公式で行われます。

平等についての見解には、男女の役割、少数民族の介在など、未だに大きな文化的相違があります。これらの差異は、グローバルに適用される基準で対処されます。

サステナビリティのステューワードシップ(管理責任)

バリューチェーン全体での向上



原材料

2000年から、プリントの材料にはその乾燥重量に対して90%の再生可能な原材料が使用されています。これは以前より60%向上しました。

生産

ヴァッサートリューディングの生産拠点では、圧縮機から出る廃熱を、髪用スプレーとデオドラントスプレーのテスト溶液を温めるのに使用しています。これにより、120万キロワット時のガソリンを節約し、放射損失を減らすことができます。

流通

私たちはドイツで、衣料用洗剤と家庭用クリーナーを鉄道で輸送する量を、1994年の220,000メートルトンから2008年の313,000メートルトンまで増やし続けています。これにより2008年には、二酸化炭素排出を3,000メートルトン減らすことができました。

使用

1970年、1回の洗濯の標準的な粉洗剤の投入量は約280グラムでした。Persilメガパールは、1回の使用量を76%減らし、わずか67.5グラムにしました。

廃棄

リン酸塩と揮発性材料を完全に除去し、重金属を大幅に減らした金属のさび止めであるTecTailは、80%を廃棄する必要のある汚泥の量を削減します。

- » ライフサイクルへの取り組み
- » 動物実験方法に代わる選択肢
- » サステナビリティ基準への整合性の有無を評価されるサプライヤー

サステナビリティへの注力

バリューチェーン全体を通じて責任ある行動を取ることは、事業を行う上で非常に重要です。そのためヘンケルの専門家は、私たちの製品のライフサイクル全体を分析し、評価します。私たちの目標は、開発段階と同じくらい早いタイミングでこれらの要因をすべて検討することで、バリューチェーンのすべての段階（生産、流通、使用全般での原材料から廃棄まで）で、製品における安全と環境の両立性を継続的に向上させることです。 [SR](#) 挿絵を参照。 www.henkel.com/sr2008 →10

ヘンケルには製品を評価するさまざまな方法があります。例えば、私たちはライフサイクル分析の長年にわたる経験を利用して、環境面でどのように、どの程度、そして製品寿命

のどの段階で影響が出ているかを解明します。そして改善策は、最も必要などころ、そして最も効率的に実施できるところに適用されます。例えば私たちのプロセスで資源の効率性を向上させるために、適切な措置がとられるのです。

[SR](#) 20～23ページ 使用の段階で大きな影響が出たときは、使用の段階で必要なエネルギーと水の量を減らす、再生可能な原材料を使用する、生分解性を向上させるなどの方法で製品を最適化します。 [SR](#) 14～19ページ

www.henkel.com/sr2008 →11

製品の安全性 - 広範囲にわたる評価と良質なアドバイス

産業分野と小売分野の顧客、そして専門職人と一般消費者も、ヘンケルの製品と技術は本来の使い方通りに使用すれば安全であると確信しているはずで、原材料の環境と安全の両立性は、研究開発の段階で幅広く査定されます。材料は、個別と組み合わせた場合の両方で査定されます。製品とその使用時の濃度も同様に査定されます。明らかに危険

な性質を持つ材料の使用は、初めから使用を禁じられています。ヘンケルは製品がプロフェッショナル用か一般消費者用かを考慮して、その製品に付随する必要な予防及び保護策を最適化します。予防策があるにもかかわらず、製品を誤って使用した場合、顧客及び消費者は、例えばサービスや緊急ホットラインに電話するなど、ヘンケルに連絡してアドバイスを求めることができます。また、ヘンケルの製品開発担当と製品安全のプロは、製品の安全を常に保証するために、顧客と消費者からの質問を継続的に分析します。

www.henkel.com/sr2008 →12

EU 化学規則 REACH

2007年6月1日、REACH規則が施行されました。REACHは欧州連合 (EU) 内で、化学品の規則、評価、許可、制限に関する規則です。REACH規則上では、ヘンケルは化学品の使用者としては下位層にあたります。しかし、ヘンケルはヨーロッパでは化学品の輸入及び生産も行っています。そのため、フィンランドのヘルシンキにある欧州化学物質庁 (ECHA) に、ヨーロッパにあるヘンケルの会社すべてが生産・輸入を行うすべての化学品を事前登録しています。

物質の登録手続きに関わるヘンケルの毒物学者及び生態毒物学者は、該当物質情報交換フォーラムに参加しています。このフォーラムの目的は、これらの物質を登録したいと考えているすべての会社の間での、化学品の安全に関する現在

入手可能な情報とデータの交換を促進することです。これは、不必要でコストもかかる化学物質実験を避けるのが目的です。 www.henkel.com/sr2008 →13

グローバルで統一された化学品の表示

2009年1月20日、物質や混合物の分類、表示、包装についての新しいEU規制が施行されました。これにより化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) による、現行のヨーロッパの法律が大きく変わりました。GHSの目的は、化学物質と化学製品の国際取引及び取り扱いのさらなる安全のための規制をグローバルで統一することです。

欧州連合 (EU) は日本とニュージーランドに続いて、GHSを法律に組織的に取り入れた初めての主要経済領域です。グローバルに事業を展開する企業として、ヘンケルは喜んでこれを受け入れています。ヘンケルの専門家は、GHSの展開を最初から監視しています。特に、衣料用洗剤と家庭用クリーナーの分野で、ヘンケルは消費者向け商品の新表示義務での有意義なアプリケーションを提唱しました。欧州連合では、化学物質の危険防止のための表示は2010年までに、また化学製品については2015年までに新しい規制に適合されます。 www.henkel.com/sr2008 →14

動物実験に代わる選択肢の開発

ヘンケルは動物を使わないテスト方法の開発と、これらの方法を一般に利用可能にすることを非常に重視しています。私たちは1980年代から、この動物実験に代わる選択肢の開発に取り組んでいます。この目的のために、私たちは業界の外部パートナー、監督機関、研究機関などから成る国際ネットワークの共同プロジェクトに携わっています。動物実験によるテストを必要としない全層皮膚モデルの力を借り、代わりとなるテスト方法の開発をしています。全層皮膚モデルを使用して、例えばコスメティックス製品の適合性をテストするなど、完成品の性能と品質を確認しています。実験室で行われた動物を用いない生体外実験 (試験管の中で行う実験) の結果からは、これまでに多くの新しい細胞と組織の培養系などが開発されています。

www.henkel.com/sr2008 →15



非動物実験方法：ヘンケルが開発したこの全層皮膚モデルは、皮膚組織に化学物質をつけた場合の効果の体系的な評価に利用できます。

サプライヤーとその他のビジネスパートナー

サプライヤーに期待すること

私たちは明確化された経営プロセスと全社的な購買戦略に基づいて、ワールドワイドでの購買を進めています。非常に変わりやすい市場で生き残るためには、グローバルでの透明性、スピード、決断力が非常に重要です。私たちは世界全域で、短期での限定的な購買よりも、戦略的な購買に集中的に取り組んでいます。サプライヤーには、私たちの企業倫理の基準を満たしてほしいと思っています。従って私たちの選択手順では、企業の社会的責任における実績も考慮することになっています。

私たちは1997年に安全、衛生、環境の基準を定めてから、バリューチェーン全体を通じての責任を認識しています。その基準に則り、私たちの購買部門と事業運営部門は、サプライヤーの評価基準を規定しました。

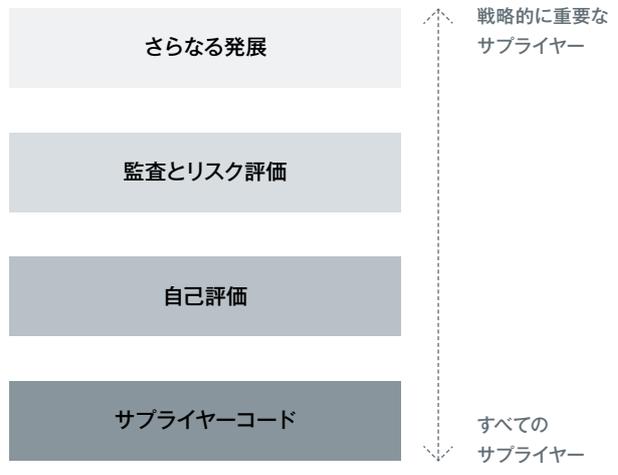
サプライヤーの評価状況と、今後重要となる地域

2007年から、私たちは世界中のサプライヤーとその他のビジネスパートナーを、統一されたサステナビリティ基準に則って組織的に評価しています。サプライヤーとその他のビジネスパートナーは、安全、衛生、環境、品質、人権、従業員基準、反汚職などのトピックについて調査され、その際に私たちが期待することも同時に伝えられます。調査を行うのが予想したよりも難しかったため、2007年は、グローバルでの購買量570億ユーロの80%を調査するという目標を達成できませんでした。そのため私たちは2008年も調査を続行し、これまでに原材料と梱包材のサプライヤーとその他のビジネスパートナーの70%の調査を行いました。

サプライヤーとその他のビジネスパートナーの38%は私たちのサステナビリティ基準を満たしていましたが、残りの60%については、個々の基準を考慮した改善策を適用することで同意しました。2%については、許容し難い商法を行っていることが分かったため、これらのサプライヤーとの取引を中止しました。

私たちは2009年から、OECD加盟国以外での新たな購買市場の開拓に大いに注力します。サプライヤーとその他のビジネスパートナーに対しての需要に影響はありません。

サプライヤーの評価ツール



持続的な商取引について私たちが期待することを、これらの市場の新しいビジネスパートナーに伝えるために、すべての契約上の関係の基準として、2009年にヘンケルサプライヤーコードを導入します。2008年には、さらに詳しいサプライヤー調査を行うため、部門に特化したアンケートを既に作成済みです。さらに、2012年まで1年ごとに、監査済みのサプライヤーからの購買量の割合を増やすことを目標としています。戦略的に重要なサプライヤーには、さらなる成長を手助けするなどの特別支援も行います。 www.henkel.com/sr2008 → 16

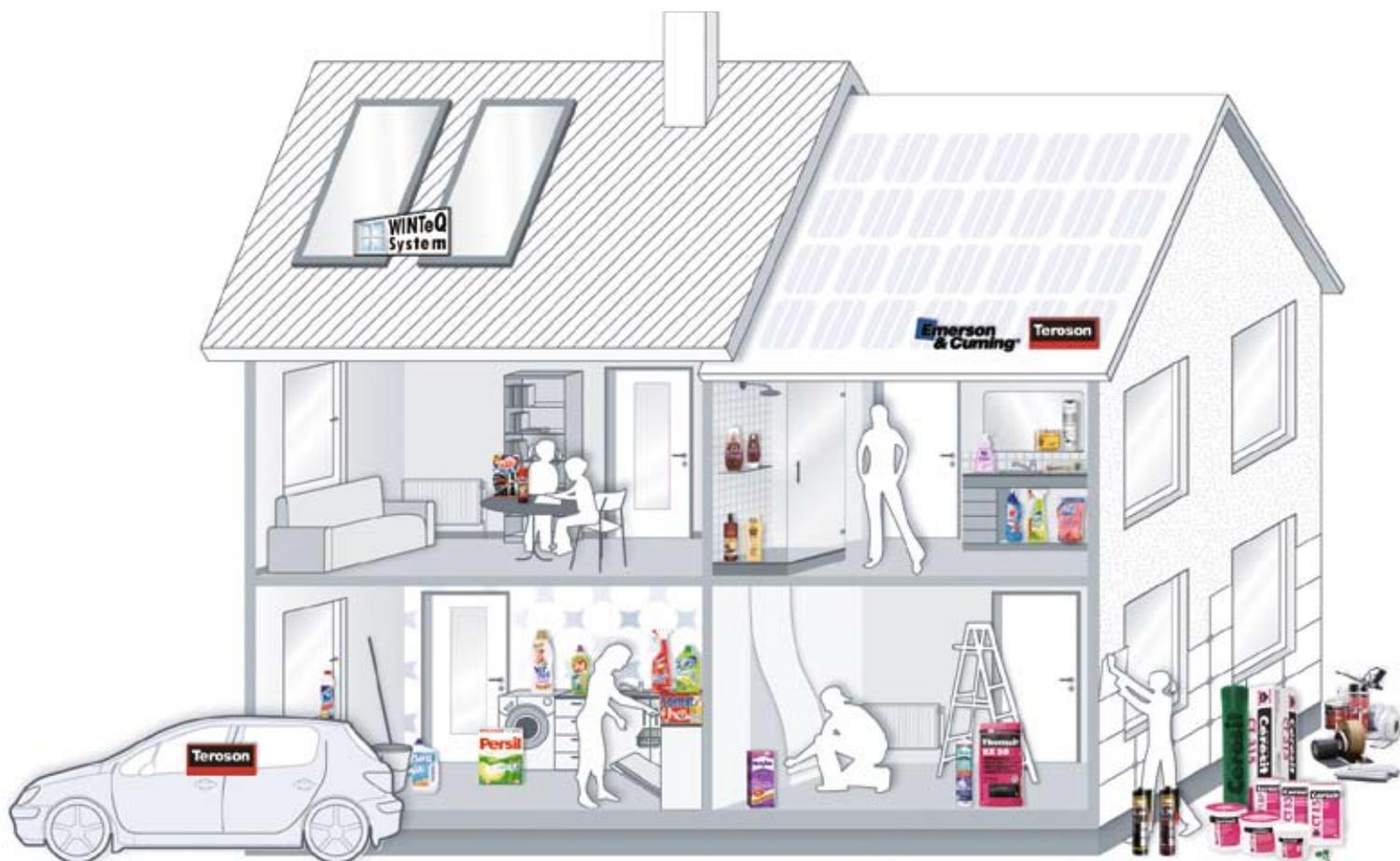


パーム核油認証の先駆者

原材料購入の早い段階においても責任を持つため、私たちは「持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO: Round Table for Sustainable Palm Oil)」に参加しています。この組織は、ヤシとパーム核油の持続可能な生産を促進し、その方法で栽培されたヤシとパーム核油の認定証やマーケティングモデルを提唱しています。ヘンケルは、企業として世界で初めて認定証付きパーム核油を購入し、その油は新しい家庭用クリーナーブランド Terra Activ の5製品に使われました。つまり、企業として初めて、サステナブルに育てられたヤシの木から採れたヤシ核油が、界面活性剤生産のサプライチェーンに確実に導入される手助けをしたのです。

SR 15 ページ www.henkel.com/sr2008 → 17

持続可能な製品とテクノロジー



上図「ヘンケルハウス」は、家庭やオフィス、DIYや職人作業の現場で、常に優れた性能を発揮しながら、同時に省エネや資源の保全にも貢献するヘンケル製品の実例を示しています。さらに、接着剤やシーリング剤のシステム、表面処理製品が、自動車、パッケージ、航空宇宙、電子機器、金属、ソーラーエネルギー分野など、多くの産業において持続可能な開発に貢献しています。

- » 製品のイノベーションを牽引するサステナビリティ
- » ランドリー&ホームケア製品：「品質と責任」
- » コスメティックス製品：自然で再生可能な原材料
- » 接着剤およびシーリング剤：人と環境にやさしく

イノベーションの研究と開発に注力するのは、そのためです。例えば、こうした解決策によって、お客様や消費者のみなさんは、エネルギーや水といった貴重な資源をより効率的にお使いいただけるようになります。 www.henkel.com/sr2008 → 18

付加価値をお届けする製品

ヘンケルがお届けする「品質と責任」の製品や技術の数々は、毎日世界中で、数百万にのぼる多くのお客様に選ばれています。ですから、私たちの製品は、気候の変動、資源の保全、衛生など社会が抱える課題の解決に貢献する大きな可能性を持っているのです。ヘンケルが定めるサステナビリティのコミットメントに即して、全ての新製品は、五つのフォーカス分野のうち一つ以上に貢献しています。 [AR](#) 4ページを参照。ヘンケルが、大幅な付加価値を提供し、人と環境への責任とトップクラスの性能を結びつける革新的なスマートソリュー

イノベーションと成長を牽引するサステナビリティ

経済的な成功および持続可能な開発の基礎であるイノベーションには、高度な革新性が必要です。2008年、ヘンケルは研究開発の分野に約2,900名を配し429百万ユーロ¹⁾を投入しました。ヘンケルのイノベーションマネジメントシステムは、国際的なトレンドと市場の分析、お客様や外部の専門家との直接対話を通じて獲得した知識など、多様なソースから集めた情報を活用しています。製品のライフサイクル分析によって、人と環境へのインパクトが特に著しい箇所、すなわち、改善に着手する最適のポイントが

¹⁾ リストラ費用52百万ユーロを含む

わかります。AR 49, 50 ページ イノベーションプロセスにおいてサステナビリティの可能性を検証することは、多年にわたって獲得したヘンケルのサステナビリティに関する知識を統合し、また、新たなトレンドへの発見と活用にもつながるのです。品質と性能の継続的な向上追求だけが、ヘンケルのイノベーション開発を促進しているわけではありません。環境や社会の発展を追求する姿勢も、イノベーションを促進します。なぜなら、私たちは環境や社会開発が経済成長を牽引する重要な要因であり、市場における競争力強化を生み出すと考えるからです。

ヘンケルは、産業界ならびに一般のお客様に、イノベーションのもつこうした付加価値をご理解いただくために、多くのコミュニケーションツールを開発しました。例えば、工業製品用の“バリュー計算ツール”では、ヘンケル製品を使用することによって、時間やエネルギー、労働力がどれだけ節約できるかがわかります。また、ランドリー&ホームケア事業部門では、“ヘンケル・サステナビリティナンバーマスター”を使って、さまざまな質問や条件をもとに、新製品やプロセスのサステナビリティ・パフォーマンスを検証しています。こうして改良点が特定され、新製品の販売や物流、パッケージ戦略の開発に活用されます。ヘンケルはまた、特定のパンフレットやプレゼンテーション資料を提供するほか、営業員に対する研修やセミナー、産業界や一般のお客様と協力した各種の活動も行っています。

成長市場向けの戦略

今日、新興国および開発途上の国々は、経済開発の主要な推進力となっています。2008年、ヘンケルにおける東欧、アジア（日本を除く）、中東、アフリカ、中南米の成長地域の売上は、37%を占めました。私たちは、この数字が2012年までには45%に増加するものと考えます。特にこうした地域では、製品の社会的な付加価値を問う声がかすかす顕著になっています。

ヘンケルにとって、低所得層のお客様ニーズに沿った製品は、大きな経済的チャンスであるだけでなく、例えば家庭の衛生状況を改善することによって健康促進の点で社会貢献を果たす存在でもあります。世界各地の異なるニーズに適切に対応するために、ヘンケルは個別の市場状況によって異なる戦略を採用しています。お客様の要望が世界的に共有できる場所では、グローバルな同一製品を提供します。これは特に産業用事業部門にあてはまることです。所得水準、インフラやお客様の文化的なニーズが異なる場所では、できるだけ多くの皆様にヘンケルのパフォーマンスと品質がご利用いただけるよう、自社製品を地域の状況に適合させています。

www.henkel.com/sr2008 →19



製品の二酸化炭素排出量を 計る試み

気候の保護に関する製品の貢献度をはかるために、製品の二酸化炭素排出量を測定する実験が世界規模で行われています。実験では、原材料の購入から、生産、使用、そして廃棄に至るまで、製品のバリューチェーン全体にわたってすべての気候に関連した温室効果ガス排出量を検証します。

現在までのところ、一製品の二酸化炭素排出量を決定する国際的な統一手法はありません。そのため私たちは、ドイツおよびアメリカの試験プロジェクトに参加しています。ドイツでは、研究開発、産業、流通販売、および非政府組織のパートナーと共に、二酸化炭素排出量を決定するための信頼できる国際的な統一手法の開発促進に取り組んでいます。これに基づき、気候変動に関する消費者のための有意な製



品情報は、どんな形で届けられるべきかが議論されています。というのも、気候保護を大きく前進させるには、一般消費者の関わりが欠かせないからです。

アリゾナ州フェニックス（米国）のアリゾナ州立大学との共同研究では、アメリカ家庭の特殊な条件を考慮したうえで、洗濯が環境にどんな影響を与えるかを主に研究しています。その科学的な研究によって、洗濯の習慣を変えるだけでなく、効率的な洗濯機や乾燥機、洗剤を使うことで、消費者がどれほど資源の保護に貢献できるかが明らかになりました。

ランドリー&ホームケア

サステナビリティにおける戦略的重点

ヘンケルの洗濯用洗剤および家庭用クリーナーは、環境適合性と可能な限り融合をはかりながら、最良の製品性能を提供しなければなりません。これは、ヘンケルが130年以上にわたって受け継いできた基本理念です。2007年の年初から、ヘンケルは「サステナビリティに基づく性能」という戦略において、人と環境に対する責任と製品性能の両立に注力してきました。私たちは、品質と責任の両立をはかることがイノベーションの推進力となり、賢明な解決策や製品の開発を前進させると考えます。こうした分野でヘンケルはリーダーシップを発揮し、将来の困難な経済状況においても優位な位置を確保してまいります。

多様な取り組み

ヘンケル製品をライフサイクル全般にわたって検証すると、その多くは、消費者にお使いいただく際に最も大きなエネルギーを必要としています。ヘンケル製品は使用時のエネルギーを節約するので、気候の保護に重要な貢献を果たしているわけです。ヘンケルの洗濯用洗剤および家庭用クリーナーは、すでに少量かつ低温で優れた洗浄性能を発揮していますが、私たちは絶えず性能の改善に努めています。ヘンケルの「Somat 7」全自動食洗機用洗剤は、高機能成分の配合によって、わずか摂氏40度で最良の結果が得られます。食洗機を摂氏40度で使用すると、50度或いは55度の時と比べ、エネルギーは最大20%節約できます。これは、1970年



わずか摂氏20度で最高の洗浄力

ヨーロッパにおけるプレミアム洗濯用洗剤 Persil, Le Chat, Dixan, Wippの性能が、またも格段に向上しました。新処方、口紅、コーヒーなど20種類以上のシミ汚れを、わずか摂氏20度でより効率的に落とします。摂氏40度で洗濯する場合と比べ、洗濯機のエネルギー消費は最大40%までカットできます。



優れた環境性能

Purex Natural Elements は、洗濯用洗剤ブランドとしては初めて、アメリカ環境保護局 (EPA: American Environmental Protection Agency) の「環境適合デザイン」プログラムに選ばれました。同プログラムは、特に環境と人の環境への適合性が高い一般消費者製品を表彰するものです。Purex Natural Element 濃縮タイプは、従来容量のわずか半分で常に高い洗浄力を発揮します。

www.epa.gov/dfe



すべてが効率アップ

ヘンケルがトルコで販売する繊維の柔軟剤 Vernel Max 4倍濃縮タイプは、従来どおりの優れた柔軟効果と香りを提供する一方、使用量を110mlから24mlへ75%以上低減することができるようになりました。容器ボトルが4リットルから1リットル詰めに小さくなったため、生産過程での材料と水が節約でき、物流効率も向上しています。



貴重な水資源を節約

チュニジアでは、セミオートマチック洗濯機のニーズに合わせた Nadhif Semi-Automatic の処方調整によって、パワフルな洗浄力を損なわずに余分な泡立ちを押さえ、洗濯中に生じる泡もすぎやすくなりました。すすぎ回数が減ったため、貴重な水資源を節約しています。



資源の保全にむけ、共に歩む

国際石鹸洗剤保守製品協会 (A.I.S.E : International Association for Soaps, Detergents and Matinenance Products) の「ランドリー・サステナビリティ・プロジェクト」に沿って、ヘンケルも2008年、トルコにおいてコンパクト粉末洗剤への切り替えを行いました。コンパクト処方により消費者のみなさまは、一回あたりの標準使用量を150グラムから100グラムへ3分の1減らせるようになりました。



代から行ってきた酵素に関するヘンケルの先進的な取り組みを基礎に生まれた成果です。

材料の効率活用に貢献するため、私たちは製品パッケージを改良し、リサイクル可能な材料を使用しています。消費者のみなさまに使用時の計量ツール、詰替え製品や濃縮品を提供することにより、原材料とパッケージの消費量を低減し、移送回数を削減しています。さらに、再生可能な原材料を最大限に活用しています。ヘンケルの洗濯用洗剤と家庭用クリーナーに含まれる界面活性剤(洗浄活性物質)の約35%は、再生可能な原材料から作られています。この数値はすでに、洗剤および家庭用クリーナー業界の平均をはるかに上回っています。

洗濯用洗剤および家庭用クリーナーは、洗浄過程で排水と共に放出されるので、私たちは排水の環境適合性についても常に改善に努めており、多年の経験を通じて獲得した知識を活用しています。1960年代以降ヘンケルは、例えば洗濯用無リン洗剤の導入、生分解性試験方法の開発など、業界の新たな基準を確立してきました。ヘンケルの「サステナビリティに基づく性能」戦略は、地域の消費者ニーズを満たす製品の開発や、各種製品ブランドによる慈善活動推進等で実施されています。 [SR 32ページ](#)



“品質と責任”のポスターと、ランドリー&ホームケア事業のグローバルチーフマーケティングを担当するコーポレート上級副社長クリスチャン・アンドレ・ワインバーガー。このスローガンは、20以上の言語に翻訳されています。

“品質と責任”

ヘンケルは、洗濯用洗剤および家庭用クリーナーの全製品に“品質と責任”のスローガンを明記することで、消費者のみなさまがより環境に配慮した購買決定をしやすくなると考えます。品質と責任の両立から生じる付加価値のおかげで、お客様はより良い製品性能と、より大きなサステナビリティを同時に購入することになります。ヘンケルの製品によって、誰もがエネルギーと水の節約に役立てるのです。消費者情報や電話回線、インターネット、特定のプロモーション、広告キャンペーン、先進的な国際活動への関わりを通じて、私たちは消費者のみなさまに、サステナビリティの責任をふまえて洗濯用洗剤および家庭用クリーナーをお使いいただくよう奨励しています。 www.henkel.com/sr2008 →20



イノベーション・リーダーシップを拡大

ヘンケルは、サステナビリティ分野におけるリーダーシップをさらに拡大する意向です。私たちは、ヘンケルのサステナビリティ理念をどのように消費者関連製品のコンセプトに落とし込むか、製品カテゴリごとに再検討しました。2008年、この点で最も重要なヘンケルのイノベーションは、5つの家庭用クリーナーカテゴリで新ブランド Terra Activ を発売したことです。人と環境に対する最大限の責任と優れた製品性能を併せ持つ製品群は、市場に新たな品質標準を打ち立てました。成分は、平均85%が再生可能な原材料に基づいており、その製品性能は、ドイツのフレセニウス生化学研究所 (SGS Institut Fresenius) の品質マークに裏付けられています。開発には、130年余りの研究開発を通じて獲得したノウハウを投入しました。Terra Activ で開発した技術的なポテンシャルは、今後徐々に他の製品群に組み込んでいく予定です。

さらに私たちは、新たな商取引ツールの開発にもリーダーシップの立場を活かしています。例えば、ヘンケルは世界で初めて認定証付きバーム核油を購入した企業であり、そのバーム核油は Terra Activ のために求めたものでした。これによって、持続可能な方法で育成したヤシの木から採れたヤシ核油が、界面活性剤生産のサプライチェーンに確実に導入される道が初めて拓かれたのです。私たちは、関連する書籍や申告システムの確立によって、ヤシ油の持続可能な栽培が大いに促進される可能性があると考えています。 [SR 11ページ](#)。 www.henkel.com/sr2008 →21



コスメティックス／トイレタリーズ

サステナビリティにおける戦略的重点

コスメティックス／トイレタリーズ事業が長期的に成功するためには、消費者側に立ち、高い効果をお届けすること、そして優れた適合性を持つことが欠かせません。加えて、環境と社会的な側面は、今や消費者の購買決定を左右する点で、一層重要な役割を果たしています。

開発への取り組みでイノベーションリーダーシップを示す一方、私たちはまた、高い環境意識と健康意識を持ったライフスタイルのトレンドを支援しています。ヘンケルでは、開発者たちが製品のライフサイクル分析を積極的に活用しています。

分析によって、革新的なアイデアとヘンケルのサステナビリティ注力分野に対する貢献が結びついた製品開発ができるようになるからです。私たちは、コスメティックス事業の基本的な価値とは、お客様の求める健やかで豊かな暮らしの維持向上に貢献することだと考えています。

自然で再生可能な原材料

ヘンケルは、例えばシアバターやヨーグルトのケア効果、アロエベラの柔軟効果のように、自然の活性成分や香料を用いた製品の効能実現に一層の努力を傾けています。私た



性能と自然の両立

ヘンケルのエッセンシティブランドは、周到に製品性能と自然志向の両立をはかり、プロフェッショナル向けヘアドレッシング部門で新たな標準を打ち立てています。すべての製品において、性能に妥協することなく置換えが可能ならゆる箇所、一貫して合成成分を天然のものに変更しました。その処方には、合成の香料、シリコーン、パラフィン油、鉱物油、パラベンは一切含まれていません。成分の生分解性も強化されました。さらに、私たちは、エッセンシティブランドを通じて、熱帯雨林エリアにおける森林再生プロジェクトを支援しています。



自然の効果

“Vademecum Bio”は、自然で健康な歯と歯茎のための練り歯磨きです。管理された有機栽培による緑茶成分など、ヘンケルの研究陣が独立認証団体環境サート(ECOCERT)の基準に従って選定した天然成分を99%使用しています。“Vademecum Bio”の処方の特色は、従来の練り歯磨きとは異なり、合成のフレーバーや甘味料を一切使用していないことであり、エコサートラベルが与えられたのはそのためです。このラベルは、環境に適合した方法で耕作された作物をもとに、特に選別された成分を使用した製品であることを、消費者のみなさんに伝えてくれるのです。



優れた伝統

フランスでは、ヘンケルの液体石鹸Le Chat Bio ApricotとLe Chat Bio Figが同じくエコサートのロゴラベルをつけています。1853年以来販売を続ける伝統ある石鹸のブランドLe Chatは、消費者の自然派志向の高まりに応じて、独立機関の認証製品であるこの2製品を発売しました。この2製品は、バリューチェーン全体にわたって大変厳格な環境基準を満たしており、エコサート基準に準拠した天然ベースの成分を99%含有し、合成の着色料も香料も使っていません。



スマート・レフィル・パッケージ

アメリカ市場では、Dial液体ソープ用のエコスマート・レフィルに含まれるプラスチックが、従来のレフィルボトルに比べ約67%少なくなりました。これによって、消費者の包装廃棄物が減るだけでなく、生産時に必要なエネルギー量が大幅に低減します。レフィル・パウチの生産工程は、ボトルよりもはるかにエネルギー効率が良いのです。さらに、空のレフィルは、ずっとコンパクトに輸送できるため、その結果生産工場までの配送に必要な燃料は従来より85%少なくて済むようになっています。



ちは、処方再生可能な原材料を使うことで、同時に資源の保護にも貢献しています。今やヘンケルの石鹸、シャンプー、シャワージェル製品のうち、3分の2以上の処方が再生可能な原材料に基づいています。また、再生可能な原材料の購入にあたっては、環境および社会的側面を考慮することを怠りません。ヘンケルの処方には、管理された有機栽培作物から抽出した材料が益々使われるようになっていきます。さらに、材料購入に際しては、原産国のフェアトレードをサポートするサプライヤーや地域のステークホルダーと協力できる機会を追求しています。

安全に使えるということ

すべてのコスメティクス製品と個々の成分は、徹底したアセスメントと評価プログラムによって管理され、人の健康と環境への適合性が確保されています。

ヘンケルは、完成したコスメティクス製品の適合性を評価するにあたって、非動物生体外試験方法(試験管内で行うテスト)と皮膚科学の研究を採用しています。数種類の成分については動物実験を行うことが法律で規定されていますが、ヘンケルは1980年代の初めから動物実験を置き換える

代替テスト方法の開発を続けています。近年では、例えば、皮膚からの吸収および皮膚適合性を測定する生体外試験の導入に成功しています。SR 9, 10 ページ

そして、使用後も問題を残さない

ある製品が使用された後、その環境適合性は、成分の生物分解性とパッケージのリサイクル性という二つの面で明らかにになります。

ヘンケル製品のうち、使用後に廃水に含まれるものは、最適な生分解性を考慮して処方されています。私たちは一層の改良を達成する意向で、ヘンケルの石鹸、シャンプーおよびシャワージェル中の生分解性成分の割合を、2012年までに現在の65%から80%に引き上げる目標を自らに課しています。

消費者の包装廃棄物を低減するために、私たちは包装の質と安定性を損わずに可能な限り製品パッケージに使用する材料の量を減らすよう、努力を続けています。また、包装材料に関する高い需要に応える適切なバイオプラスチックも探求しています。

www.henkel.com/sr2008 →22



サステナビリティの認証を受けた イノベーションリーダーシップ

昨年、私たちは、サステナビリティ特性の強いコスメティクス製品の比率を著しく高めました。ヘンケルはこの部門で、合成着色料や芳香成分、ポリエチレングリコール、鉱物油ベースのパラフィン油を一切含まない製品処方を増やしています。特定製品の天然成分は、大変厳格な外部の認証プロセスを経て、認証団体エコサートのような各種の独立した団体によって認定されます。エコサートの認証プロセスでは、単に使用成分をチェックするだけでなく、生産工場が特定の条件を満たしているかどうかを含め、その生産工程全体が監査されます。エコサートのラベルを付けたヘンケル初の製品が、練り歯磨きVademecum

Bio、液体石鹸のLe Chat Bio ApricotとLe Chat Bio Figです。これらは、バリューチェーン全体にわたって最も厳しい環境基準を満たしているのです。

www.henkel.com/sr2008 →23



アドヒーズブ テクノロジーズ (接着技術)

サステナビリティにおける戦略的重点

接着剤とシーリング剤の分野においてヘンケルは、技術、環境および健康への配慮の点でも、世界のリーダーです。ヘンケルの接着剤、シーリング剤、表面処理製品は、自動車、エレクトロニクス、航空宇宙、金属産業、耐久財製造業や、補修メンテナンス、パッケージ産業など、多くの様々な市場に提供され、工業用アプリケーションや建設プロジェクトをはじめ、DIYや職人作業の現場、家庭や学校、オフィスでも、バリューの創造や維持に役立っています。接着剤、シーリング剤、

表面処理剤は、日用品を補修し、建造物を寒さや湿気から守り、柔軟な太陽電池を形成し、そして、より耐久性が高くより軽量でより効率的な製品の製造に使われているのです。

ナショナルスターチ事業の買収を通じて獲得したものを含め、ヘンケルの革新的な製品とテクノロジーは、お客様や消費者のみならず経済的な利益と、人と環境に対する責任とを兼ね備えています。多くの場合、私たちは製品とプロセスの最適化によって、エネルギーと水、廃棄コストの低減をサポートします。ヘンケルのシステムソリューションは、



3つの課題 - 窓と壁の問題を同時に解決

建物の熱は、おもに窓、ドア、そして壁面から失われます。ヘンケルは現在、唯一のグローバルなサプライヤーとして、エネルギーのロス/湿気/騒音の主要3課題に対応する認証済み断熱システム、窓用シーリング断熱材 WINTeQと壁面断熱材 Ceresitの2製品を販売しています。また、製品のコンセプトをサポートするために、エネルギー節約計算ツール、一連のトレーニングコース、インターネットサイトを提供しています。

www.henkel321.com



ヘンケルから新しい金属の前処理プロセス

効果的で、経済的なメリットがあり、環境にもやさしい - TecTalisは、金属を腐食から護るヘンケルの画期的な新技術です。自動車業界や耐久財産業で従来のリン酸亜鉛法に取って代わるこの技術は、プロセスコストを削減し、環境と消費エネルギーの両面で著しく負荷を低減します。



風力タービン用の新接着剤

ヘンケルが開発した Macroplast UK 8340は、動翼接着のガイドラインに沿った風力タービン建設用のポリウレタン接着剤として、初の認証を受けました。その新技術は、工程の最適化、生産性の向上、コストの低減を通じて、風力タービンのメーカーに利益をもたらしています。



世界初の柔軟性瞬間接着剤

ロックタイト Ultragel super glue (※日本市場での商品名: ロックタイト ジェルプラス)は、耐水性があり、木、金属、プラスチック、ゴムや皮革表面を、瞬時に高強度で接着しますので屋内、屋外共に使用に適しています。製品の柔軟性は顕微鏡サイズのゴムの粒子によるものです。耐久財をすばやくしっかりと補修してその寿命を延ばし、資源を節約します。



食品用フレキシブルパッケージの安全を守る最高基準

フレキシブルパッケージの安全は、食品およびパッケージ業界の最優先事項です。そこで使用されるシステムは、食品をパッケージ外の影響から護るだけでなく、パッケージ材料そのものの有害物質による汚染も排除しなければなりません。第4世代の Liofol ラミネート用接着剤は、他の追随を許さない高速接着によって、かつて無い高レベルの安全基準を確立しました。



包装用接着剤向けの低温溶解

ナショナルスターチ事業の買収により、ヘンケルは包装用接着剤部門におけるリーダーシップを一層拡大することが可能になりました。従来、包装用ホットメルトは摂氏160から180度で使用されていましたが、ヘンケルの Cool-Melt Ultra はわずか摂氏100度で使用できます。そのため、ヘンケルのお客様にはエネルギーコストの低減でお役にたっています。

Ceresit

WINTeQ System



Liofol
Always one step ahead.



お客様のプロセスを熟知することを基本に、お客様や機器メーカー、原材料サプライヤーとのチームワークから生まれることも少なくありません。私たちは、こうした知識や経験に基づいて、例えば“バリュー計算ツール”などを用いてヘンケルのイノベーションがもたらす利益を数値化し、それをお客様にわかりやすく示すことができるのです。このようにヘンケルは、プロセスチェーン全体の最適化に役立っています。

改善を達成するさまざまな手法

製品イノベーションおよび製品ポートフォリオの徹底的な見直しによって、私たちは製品やテクノロジーのパフォーマンスを向上し、プロセスの効率化をさらに進め、アプリケーション関連の環境負荷を一層低減し、そして、健康適合性の更なる改善を達成しています。例えばヘンケルは、重金属と溶剤について、高機能な代替品への置換え政策を多年にわたって着実に推し進め、水性や紫外線架橋技術、ホットメルト接着剤の提供を可能にしました。技術的な必要や市場状況から困難に直面する場合、私たちは代替のソリューションを探し、より長期的な代替プログラムを探します。

製品の特長を最適化するにあたっては、ヘンケルの接着剤開発担当者も再生可能なリソースを活用しています。国際的に知られた一例がスティックのりのプリントで、現在はほとんどが再生可能な原材料に基づく処方で作られるようになりました。ヘンケルには、再生可能なものを使用する永い伝統があります。



ヘンケルの Bonderite NT は、金属表面に用いるナノセラミックの前処理剤で、高品質を提供するだけでなく、環境の点でも経済性の点でも、従来のリン酸鉄に勝っています。2008年6月、テクノロジーリサーチ担当コーポレート上級副社長のラモン・バカルディット（右から2人目）は、この製品でドイツ産業連盟(BDI)の環境賞を授与されました。

1920年代という早い時期に、私たちはでんぷんベースの接着剤や、馬鈴薯粉ベースの装飾用糊、壁紙用糊を生産しています。数十年にわたって、セルロースも重要な原材料として使用し、ヘンケルはそこから、例えば壁紙のり用のメチルセルロースなどを獲得しています。

世界中で、お客様向けに個別に調整された“テラーメイド”の接着剤、シーリング剤、表面処理剤によって、ヘンケルの専門性は、燃料電池や柔軟で軽量な太陽電池など、新しいクリーンなエネルギー源の開発につながっているのです。



革新的なエンジニアリング接着剤

エアバス A350 やボーイング 787 ドリームライナーのような次世代の航空機は、機体の約 50% が繊維複合材でできています。これまでの繊維複合材は、零度以下で保存し、使用する前に溶かしておかねばなりませんでした。ヘンケルの新しい Epsilon 技術は、繊維複合材の室温保存を可能にしたのです。これにより、工程が簡略化され、廃棄量が減少し、航空機生産時のエネルギー消費が削減されます。加えて、材料の耐熱性、安定性、強度が高まります。現在、すべての主要な航空機メーカーで、製品の承認作業が進行しています。

重量で比較すると、現代の繊維複合材は、スチールやアルミ線の 10

倍の強度があります。そのため、エンジニアは重量を減らすと同時にパーツの強度を高めることができるのです。そして、より軽量になった航空機は、燃料も少なくて済みます。

www.henkelepilonresin.com



製造と物流

57カ国に製造拠点



www.henkel.com/sr2008 →24

- » 最適化のプロセス:全社で推進、各地で適応
- » 資源効率に世界規模で貢献
- » 効果的なロジスティクス プランによる削減

品質の約束と生産の効率化

ヘンケルは57カ国で生産拠点を運営しています。そのほか、多くの国に管理、研究、マーケティング拠点、倉庫、配送センターを備え、雇用や事業の契約を通じて地域の経済発展に寄与しています。効率の高い先進的な生産拠点が無ければ、高品質のブランド製品は生産できません。ですから、そのために組織やプロセスを常に改善し、資源消費や環境負荷を低減するのは、ヘンケルが掲げる品質の約束を果たすことでもあるのです。世界各地に知識や新技術を移転することも、これに該当します。

全社的な舵取りツールと地域のアクションプログラム

全社的なプログラムによって生産性、品質、安全性を高め、資源消費、廃棄物、メンテナンスコストの低減をはかるには、まず包括的な分析とシミュレーションが必要です。ヘンケルの製品は多様なため、生産工程に求めるものも様々に異なります。例えば、タイル用接着剤、家庭用クリーナー、スキンクリーム製造には、それぞれ基本から全く異なるプロセスが必要で、水とエネルギーの消費の観点からも大きな違いがあります。そのため、各工場の経験や活動は、全社規模の効率化プログラムに集約されるようになってきました。実際、プロセスに特定した従業員の独創的なアイデアが、私たちの目的達成に大きく貢献することも少なくありません。有効性が実証された手法は常に、同様のプロセスを使用する他の事業所に紹介されます。

全社的な舵をとるためのツールと地域的なアクションプログラムとのこうした相互作用によって、私たちは最適化プロジェクトを地域のプロセスに合わせて調整し、地域の課題に対応できるようになります。2008年、ヘンケルは自社事業所で、資源効率を改善する数々のプロジェクトを実施しました。**SR** 下記参照。そして私たちはこの報告書の報告期間、このように、サステナビリティの重要な指標をより一層改善することができたのでした。**SR** 裏表紙参照。エネルギー消費の削減は、エネルギーの価格上昇が業績に与えるインパクトを緩和するにあたって、主要な役割を果たしました。さらにヘンケルは、これに伴う二酸化炭素排出量削減を通じて、事業を運営する国々が気候保護の目的達成に近づくよう援助しています。

知識と技術の伝達

事業所間の知識や技術伝達を通じて、私たちは安全で効率的、かつ資源保全に役立つ生産工程が世界で確実に用いられる状況を確保していますが、これには先進のマネジメント手法の導入、従業員の専門能力開発や資格認定プログラムの

導入が密接に関係しています。ヘンケルのサステナビリティ注力の成功には、リーダーシップの発揮やスタッフの育成と意識向上、それらすべてが大きな役割を果たしています。

そのため2007年以来、私たちは、安全、健康、環境（SHE）のリーダーシップに関する特別トレーニング・プログラムに高い優先度をおいてきました。プログラム内容は、リスクの評価から緊急対応および緊急対応システムに及びます。これまでのところ、3日間にわたるSHEリーダーシップセミナーを8回実施し、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカから合計140名を超える拠点長および生産マネージャーが参加しました。こうしたセミナーもまた、経験の交換を促進しています。

世界標準

ヘンケルの安全、健康、環境の基準（SHE基準）と社会的基準は、世界の全ヘンケル事業所に適用されています。私たちは定期的に監査を行い、基準が適切に実施されていることを確認しています。**SR** 7ページ 監査はリスクを特定し改善の可能性を知る主要なツールであり、世界の知識伝達にお

資源効率向上に対する世界の貢献

フォーカスエリア	貢献
	▶ ブネー (Pune) インド 接着剤混合のための新規攪拌ユニット設置を通して、接着剤生産工程の最適化。結果：同工場のエネルギー消費を30%削減。
	▶ ヤンタイ (Yantai) 中国 エアコンの最高/最低温度を設定するなど、事業所におけるエネルギー節約を推進するため、従業員を動機づける各種キャンペーン。結果：エネルギー消費を7%削減。
	▶ チョンブリ (Chonburi) タイ コスメティクス生産の混合工場稼働率向上を含む効率化アップのための広範な各種方策。結果：エネルギー消費を28%削減。
	▶ マリボル (Maribor) スロベニア エネルギーと水の消費を削減する広範な各種方策。結果：エネルギー消費を9%、および水の消費を13%削減。
	▶ モルトネス (Montornés) スペイン 水を加えずに粉末洗剤成分を混合できる新技法。そのため洗剤をスプレイトワー内で乾燥させる必要が無い。結果：ガスの消費を20%、水の消費を23%削減。
	▶ ノルコピン (Norrkopin) スウェーデン 接着剤製造の全領域で多くの最適化プロジェクトを実施。結果：電気の消費を8%、水の消費を22%、廃棄物を14%削減。
	▶ セントルイス (St.Louis) 米国ミズーリ州 洗濯用洗剤の生産を濃縮タイプに転換。結果：当該事業所で水の消費を33%、廃棄物を29%削減。
	▶ ウッドラフ (Woodruff) 米国サウスカロライナ州 産業向けパッケージ用接着剤の出荷段ボールのデザイン変更。結果：外装パッケージ材を27%削減。
	▶ ミクスコ (Mixco) グアテマラ 粉末洗剤の製造工場において生産プロセスを最適化。結果：スプレイトワー内のエネルギー消費を11%削減
	▶ ボゴタ (Bogotá) コロンビア コスメティクスの生産施設において清掃プロセスと廃水処理設備を大幅に最適化。結果：廃水量を22%、廃棄物を53%削減。

いてきわめて重大な役割を果たします。地域全体を総合的に捉えるために、私たちは外注業者および配送センターへと、監査の対象を着実に拡大しています。2006年以降すべての生産拠点では、安全性、環境保護および労働安全について自己評価も実施するようになりました。

各事業所は、競争上の優位性が生じる場合は必ず、自社の環境管理システムに外部機関の認証をうけるよう義務づけられています。2008年度末の時点で、生産量の約54%が環境マネジメント規格ISO14001の認証を取得した事業所で生産されています。国際品質マネジメント規格の認証を取得した事業所で生産された製品は、生産量の約62%にのぼります。

買収後のヘンケル基準の徹底

2008年4月、ナショナルスターチ事業を買収した後、私たちはただちに、双方の環境保護ならびに労働災害担当者の間で集中的な対話を開始しました。ナショナルスターチの事業所をヘンケルのデータ処理システムに統合する一方、まず、ヘンケルとナショナルスターチとで、ヘンケルの既存のSHE基準、報告やマネジメントのシステムと、ナショナルスターチのものを比較し議論しました。

この比較をもとに、新たに取得した事業所ではそれぞれ、環境保護および労働安全衛生の分野でみずからの実績評

価を行いました。評価の結果、双方の基準やシステム間の相関関係が高いことをはっきりと示していました。そのため、2008年度中に新たな事業所を同一の報告システムに組み込むことができたのです。ヘンケル基準との整合性を確保するために対策が必要なのは、一部の領域に限られていました。同時に、ヘンケルがナショナルスターチ組織の既存手順から学ぶべき領域も明らかになりました。

ロジスティクスプランニング：変動要因の多い方程式

ヘンケルでは、輸送する製品の特性に合わせてロジスティクスプランを策定しています。比較的重量や容積が大きい製品の場合は、地域に生産拠点を維持することで、輸送距離を減らし環境負荷を軽減します。特に洗濯用洗剤および家庭用クリーナー、また、一部のコスメティックス製品と接着剤がこれに該当します。軽量でコンパクトな特定の製品は輸送にかかる負荷が少ないので、場所にこだわらず可能な限り中央集約の多量生産を行っています。例えばヘンケルの瞬間接着剤は、世界の数拠点だけで生産されています。

こうしたことに加え、私たちのディストリビューションネットワークは、多くの異なるニーズに対応しなければなりません。常にお客様のご要望にお応えできるよう、適正な時期、適正な場所に、適正な量の製品を確保しておく必要があります。

2008年度事業運営上の事故

ブラジル：2008年3月、ボイツヴァ (Boituva) の事業所において、約2立方メートルの水と溶剤の混合液が格納システムからあふれて雨水排水システムに流入し、事業所外の土地に流出しました。ヘンケルは直ちに環境当局に連絡し、ヘンケルの敷地外に及ぼす影響を最小限に留めるために必要なすべての措置をとりました。ヘンケルの緊急チームがプロフェッショナルかつ迅速に対応し対象地域の洗浄を行ったため、地元の担当官庁が罰金を科すことはありませんでした。土壌および地下水の最終的な分析の結果、対象地域にそれ以上の汚染はありませんでした。根本原因を分析したところ、まず溶剤の追加をモニターするシステム故障が引き金となり、その後格納システムが流出を起こしたのでした。工場の補修を行い、該当プロセスおよび同種プロセスの安全性を高め、今後こうした事故の再発を防止するために、予防措置のリストを策定しました。

ポーランド：2008年8月、ポーゼン (Posen) のヘンケルのコスメティックスおよび接着剤用中央倉庫で火災がありました。倉庫の建物と、保管されていた多くの完成品、広告材が損傷を被りました。ヘンケル従業員は訓練が行き届いていたため、全員が建物から安全に脱出することができました。同倉庫は火災前日に現地の消防当局によって査察を受けたばかりでした。火災は、ヘンケルが賃貸契約を行っていない倉庫併設の事務所部分から発火した可能性が高いようです。ヘンケル従業員のプロフェッショナルな対応は、安全衛生および健康 (SHE) の各種研修の妥当性を裏付けるものであり、ヘンケルはこれを強化する意向です。

私たちは、「輸送と倉庫の最適化」プロジェクトの一部として、常に効果的で環境適合性の高いロジスティクスコンセプトの開発に努め、物流のパートナーを選ぶ際は、保有車両のエネルギー効率を選定基準のひとつにあげています。ヘンケルは、販売のパートナーと協調して改善点を特定できるように、ヨーロッパ全域を対象とした“ECR” (Efficient Consumer Response : 効率的な消費者対応) イニシアチブに参加しています。

 www.ecrnet.org

経営全般の二酸化炭素排出量とロジスティクス

経営全般にわたる二酸化炭素排出量で総合的な改善を達成するために、私たちは生産とロジスティクスの排出量データベースの向上と完成をめざして、絶えず努力を続けています。ヘンケルは何年も前に、生産体制全体のマネジメントシステムを確立しており、こうしたシステムが、自社の二酸化炭素排出量と、第三者から購入したエネルギーの発生に起因する排出量の双方をカバーしています。  24 ページ

しかし、ロジスティクス、すなわち、製品の輸送あるいは出張などに関連した二酸化炭素排出量の測定は、はるかに困難です。なぜなら、システム境界、基本データ、手法やプロセスがまだまだ明確には規定されていないからです。例えば、輸送排出量を計算するには、トラック1台ごとの正確な燃費、稼働率、走行キロ数がわからなければなりません。

各種の平均値、排出の諸要因、既存ライフサイクルデータベースからの二次データを基に算出した2008年度予測によれば、年間の製品輸送に係る二酸化炭素排出量は、ほぼ50万メートルトンに相当します。出張については、年間約15万トン程度と想定しています。数値はいずれもナショナルスターチ事業を除いた世界のヘンケルが対象です。私たちは、自社製品の開発、輸送、在庫のほか、出張や社有車も詳細に観察し、経営全般の二酸化炭素排出量における包括的な改善法を見つけるために尽力しています。

 下記の表を参照。



改善全般に貢献する多様なアプローチ

分野	アクション
ロジスティクス体制	<ul style="list-style-type: none"> 製品輸送をトラックから列車に切り換える目的で1994年ドイツに始まった「エコ-ロジスティクス」コンセプトの継続。 2009年：デュッセルドルフ近くのモンハイムにあるヘンケルの中央コスメティクス倉庫向けに列車による配送を開始。輸送マイルージは、約125万kmから約12万5千kmへと低減し、二酸化炭素排出量を年間5,200メートルトン削減。
シナジー/協力	<ul style="list-style-type: none"> ロジスティクスの集中購買ならびに個別事業所間で行う委託輸送を可能な限りグループ化。米国と欧州の例：新たに取得したナショナルスターチ事業所と隣接ヘンケル事業所の委託輸送グループ化によって、輸送重量が増加しトラック稼働率が上昇。 空荷輸送を回避するため他社との輸送協力を拡大。
製品の最適化	<ul style="list-style-type: none"> 性能とパッケージの安定性を損なわない範囲で可能な限り、重量と容積の観点から製品を最適化。例：米国 Purex ブランドの液体洗濯用洗剤を濃縮タイプに転換。結果：製品容量減少によって、年間の輸送オペレーションから約17,000メートルトンの二酸化炭素排出を回避。 包装材生産を実際の事業所に段階的に移管。
出張	<ul style="list-style-type: none"> 航空機による出張をビデオと電話の会議に置換えるためのガイドライン。結果：過去3年だけで、ヘンケルにおける世界の電話会議時間は10倍に増加。これは多量の二酸化炭素排出削減と密接に関連づけられる。
社有車	<ul style="list-style-type: none"> 2008年度：参考車両の仕様指定および新車購入基準の確立。 異なる地域で代替燃料コンセプトをテスト：スウェーデンのバイオエタノール、日本のハイブリッドエンジン。

環境指標

透明性

私たちはグループ全体で、改善の余地を見つけ出し、プログラムを進め、目標の達成を監視する指標を使用しています。指標はまた、成長と実績を公表するためのコンパクトで透明性のある手段としても重要なものです。

私たちの指標は、欧州化学工業連盟 (CEFIC) の環境指標に基づくものです。このサステナビリティレポートでは、世界中に関係のある主要な指標の公開に重点を置いています。私たちとの関連性が低い対照値については、インターネットのみで公開しています。 www.henkel.com/sr2008 → 26

世界の状況

生産に関するデータがヘンケルの57カ国226の拠点で、2008年に買収したナショナルスターチの拠点も含めて確定されました。2008年には、これらの拠点で世界中の95%以上の生産が行われました。データは年度末の報告のために中央に集められて認証され、また各拠点でも国際監査プログラムの枠の範囲内で検証されます。 [SR](#) 8ページ 後日データに差異が見つかり、報告があった場合は、報告システムの中で遡って修正が行われます。

www.henkel.com/sr2008 → 27

同等の基盤

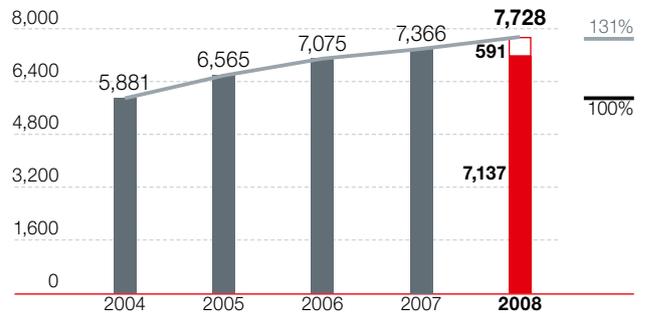
環境指標にデータを提供する拠点の数が示すように、ヘンケルは成長しています。2004年の141箇所から、2008年には226箇所になりました。成長が単一の割合で起こっていないために、数字が大幅に伸びている箇所があります。ナショナルスターチの拠点の指標は、2008年に事業買収が行われてから、報告システムに組み込まれました。2008年のナショナルスターチの数字は、買収の私たちの環境指標への影響を強調するため、独立で記載されています。

グラフの指数曲線は、生産量（産出量1メートルトンごと）に関連する特定の環境指標の向上を示しています。これらの指数曲線は、2004年を基準 (= 100%) としています。

数字の解釈をしやすくするため、2008年に買収したナショナルスターチ拠点のシェアは、白い棒で示してあります。

生産量

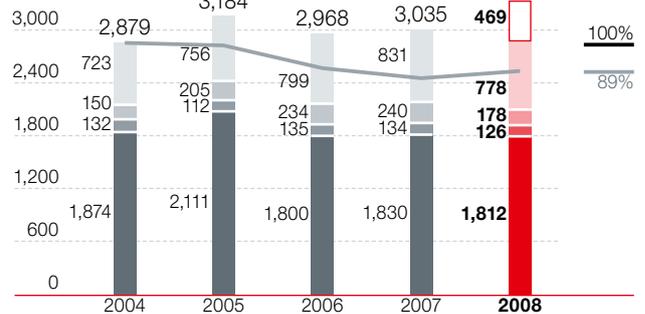
単位：千メートルトン



特にナショナルスターチ事業の買収により、2008年の生産量は約5%増加しました。

エネルギー消費

単位：千メガワット時

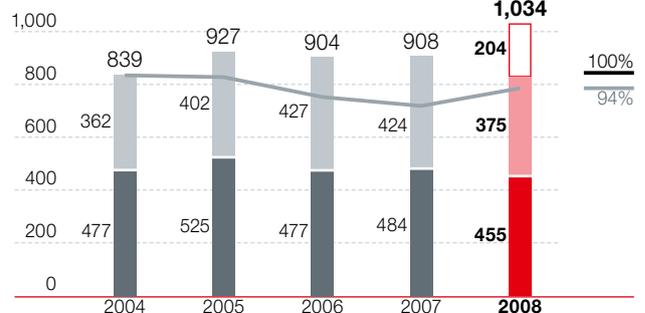


買入れエネルギー
 燃料油
 石炭
 ガス

買入れエネルギーとは、拠点外で作られる電気、蒸気、地域暖房を指します。

二酸化炭素排出

単位：千メートルトン

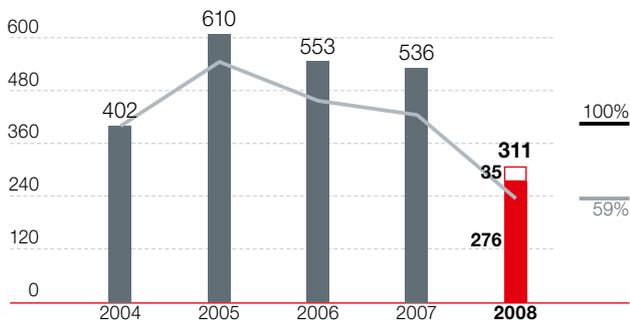


買入れエネルギーからの二酸化炭素排出
 ヘンケル単独での二酸化炭素排出

エネルギー発生は、ヘンケルの活動によって放出される二酸化炭素のほぼ全部を占めています。任意の値には、ヘンケルの拠点以外で買入れエネルギーを生成する際に発生する二酸化炭素も含まれます。

二酸化硫黄排出

単位：メートルトン



二酸化硫黄の排出は、特定の拠点での燃料混合が変わったために減少しました。

揮発性有機化合物の排出

単位：メートルトン

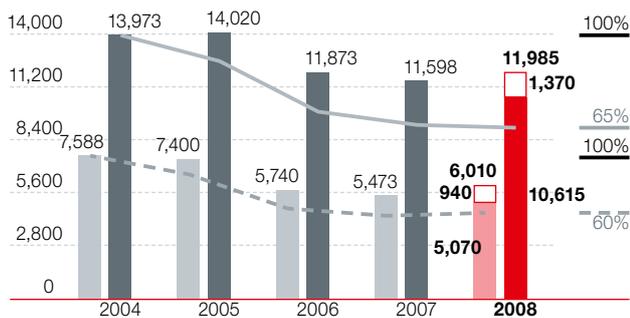


2004年と2005年の増加は主に買収によるものです。2007年と2008年に、揮発性有機化合物の排出を減らすための追加策が施行されました。

*揮発性有機化合物の数値には、ナショナルスターチ事業の分は含まれていません。

水の消費と廃水量

単位：千立方メートル

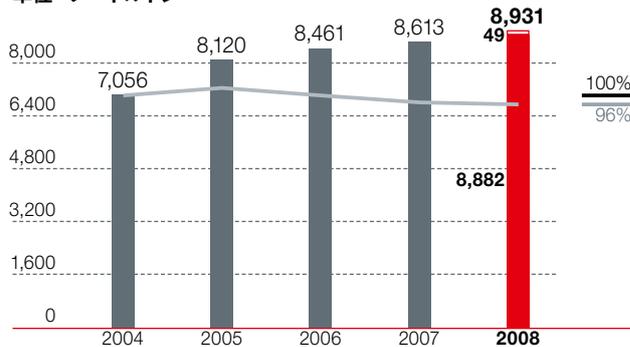


■ 水の消費 ■ 廃水量

数値には、買入れかヘンケルの水源から出たものかにかかわらず、すべての水が含まれます。この水のほとんどがプロセス水です。水は蒸発によって失われ、また多くの製品に含まれるため、廃水量は消費する水の量より少なくなっています。

表層水への化学的酸素要求量(COD)の排出

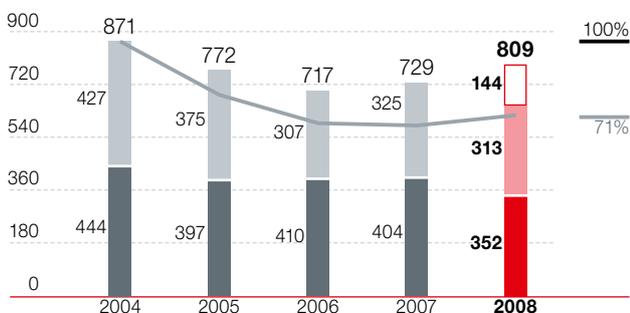
単位：メートルトン



化学的酸素要求量(COD)：有機物質による廃水汚染対策

重金属の廃水への排出

単位：キログラム



■ 鉛、クロム、銅、ニッケル*

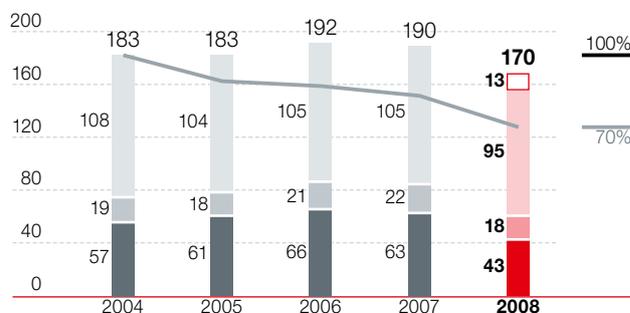
■ 亜鉛

亜鉛は通常、環境への影響という点で他の重金属より害が少ないため、亜鉛の量を別に示してあります。

*水銀やカドミウムなど、特に有害な重金属は私たちの生産には関係がありません。

廃棄物のリサイクルと廃棄

単位：千メートルトン



■ リサイクルした廃棄物 ■ 廃棄した廃棄物

■ 廃棄した有害廃棄物

「廃棄した有害廃棄物」には、各国の法律で有害と分類されているすべての廃棄物、または1989年に施行されたバーゼル条約に載っている有害廃棄物が含まれます。各国が有害廃棄物のリストを継続的に広げているため、ヘンケルの廃棄物の状況に生じた変化を反映させなくても有害廃棄物の量は増えることがあります。

社員と仕事



2008年9月1日、男女117名の若者が、デュッセルドルフのヘンケルで研修を開始しました。写真は、歓迎セレモニーの様子です。ドイツでは昨年、20以上の職種において、合計511名の研修生が指導を受けました。

- » グローバルチームの強化
- » 多様性と包括性の促進
- » 目標：労働災害ゼロ

サステナビリティへの取り組み

グローバルチームの強化は、3つの戦略プライオリティの中の1つです。社員のスキルと実績は、ヘンケルの将来的な成功を確実なものにする、非常に重大な要素です。そのため、私たちは110カ国から集まった社員がそれぞれもつ潜在的な能力を完全に活かし、各個人の献身的な努力が企業の成功に結び付くように、社員の育成を奨励しています。これを実現するための条件として、目標志向のマネジメント、成果主義に基づく報酬、定期的な評価、および継続的な研修があります。私たちは、さまざまな管理職のもとで、それぞれの求めに応じられる社員の育成を続けています。

www.henkel.com/sr2008 → 28

私たちの企業文化は、社員のモチベーションを高め、積極的な職場の雰囲気を作り出すために重要な役割を担っています。企業文化の基礎となるのは、独立して考え行動する社員です。私たちは、すべての社員がもつ個人の尊厳を尊重し、プライバシーの権利を保護し、また平等・公正の原則を順守しなければならないことを理解しています。どれひとつをとってもみても、私たちの行動規範で定められた基本的なルールです。

ヘンケルにとっての最優先事項は、全社員の健康と安全です。私たちは、労働安全衛生を改良し続けるために努力しています。社員の健康を推進し、長期にわたる労働が可能となるよう、特別に設計されたプログラムを用意しています。

最も優秀な才能を獲得するために

ヨーロッパの人口統計的な変化が指し示す方向と、一流社員獲得のための世界的な競争の激化から、ヘンケルが魅力的な雇用主であり続けることはますます重要になっています。世界中から才能ある学生を探し出し、各個人に働き掛け、できるだけ早い段階から彼らと緊密な関係を築くことも、そのための努力のひとつです。私たちは、やりがいのあるインターシップを提供すること、そして「幹部候補」学生を採用するプログラムを通して、大卒者との徹底的なコンタクトをはかります。このような例の1つが、欧州11カ国のあらゆる学科の学生が参加できるコンテスト「ヘンケル・イノベーション・チャレンジ」です。このコンテストは私たちにとって、資質、意欲、そして才能ある学生たちと巡りあうチャンスなのです。

www.henkelchallenge.com

人材管理

定期的な社員評価を実施することは、社員のさらなる育成とモチベーション向上に欠かせない前提条件です。1998年以来、全社的に管理職社員の業績を判断するツールとして「管理



能力評価」を利用してきました。また、非管理職社員向けの評価育成システムも作成し、利用しています。ヘンケルでは、社員と上司との個人面談により、各人の長所と短所に基づいて潜在的な成長力が判断され、適切な研修が決定されます。管理職社員は、部下にやりがいのある仕事を与える一方、継続的な研修と指導によってサポートし、さらなる成長を促さなければなりません。

2008年、私たちは、人材の発掘と、組織的な社員育成および管理職社員のキャリア計画を目的として、ラウンドテーブル会議 (Development Round Table) を開催しました。各事業部の管理職チームは、直属の部下たちのさらなる育成計画を目的とした座談会を行いました。2008年、上級管理職から開始されたこのプロセスは、2009年には拡大され、世界中の全管理職社員が参加する予定です。

専門能力を継続的に伸ばすために

社員のスキルおよび能力を体系的に育成し、習得を奨励することは、ヘンケルの成功に不可欠なものです。全社員が、セミナー、ワークショップ、Eラーニング、また専門分野に特化したモジュールを利用して、継続的な研修を受けることができます。私たちは、各地域、あるいはグローバルで行う管理職セミナー向けに、多様性と包括性という観点を取り入れた新しい教材を開発しました。これは、2009年から、研修コースの必須教材となる予定です。

実務経験と理論的知識を最高のレベルで伝えるために、私たちは1990年代初頭から社外パートナーおよび国際的な大手ビジネススクールと協力してきました。1997年には、管

ドイツのベルリンで開催されたヴィクトレス・イニシアチブ協会(VICTRESS Initiative e.V.)主催のガラ・パーティで、ヘンケルは、企業ヴィクトレス賞(Corporate VICTRESS Award)を受賞しました。コスメティクス/トイレタリーズ部門ヘアコスメティクス・スキンケア・オーラル製品事業戦略担当上級副社長ティナ・ミュラーが、ヘンケルを代表して同賞を受け取りました。この賞は、2005年以来、女性と家庭のためのアフターマティフ(積極的)な支援の実現を企業理念とする企業に、同協会が進呈しているものです。実業界、政界、そして一般市民の代表者で構成される審査団は、何よりも、ヘンケルが家族に向けて一貫した支援を行っている点を高く評価しました。

理職社員向けのヘンケル・グローバル・アカデミーを設立しました。毎年平均420名の管理者が、本アカデミーに参加しています。

2008年には、ドイツ商工会議所連合会により、ヘンケルが開発した統合言語コミュニケーション・トレーニングの構想が承認されました。私たちの社員は、このトレーニングを利用して、必要に応じて新しい言語を習得し、言語スキルを向上させることができます。

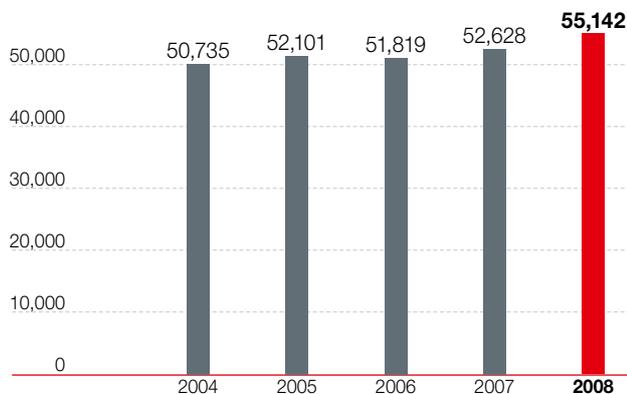
多様性と包括性

多様性は、私たちの企業文化を構成する重要な要素です。ヘンケルの国際性は、私たちの従業員の構成に反映されています。社員のもつ多様な文化とそれぞれの能力が、市場に対するより優れた理解と、長期的成功を促すものであると確信しています。私たちは、チームの構成員の年齢、性別、国籍を問わず、最高のチームを作りたいと願っています。定数を満たすためではなく、能力と可能性に基づいた採用をしています。

ヨーロッパ先進国における高齢人口の増加と、これにともなう雇用の見込まれる若年層の不足といった社会変化は、ヘンケルにとって新しく重要な課題となっています。私たちは、ドイツのアーヘン工科大学と協力して、「人口統計学リーダー」を開発しました。これを用いれば、任意の条件下において世界中の労働者の年齢構成をシミュレートすることができます。このようにして得られた情報を利用して、人材管理活動を早期段階で開始することで、人口統計的な変化がもたらす課題に、よりよく対処することができます。

世界の社員数

12月31日現在*



* 前年度数値を再表示:研修生を除く正社員数

地域別社員数

12月31日現在*	2007	2008	内訳(%)
欧州/アフリカ/中東	33,687	33,485	60.7%
北米	6,438	7,360	13.4%
南米	4,268	4,293	7.8%
アジア太平洋	8,235	10,004	18.1%
ヘンケル	52,628	55,142	100%

* 前年度数値を再表示:研修生を除く正社員数

管理職社員数

12月31日現在

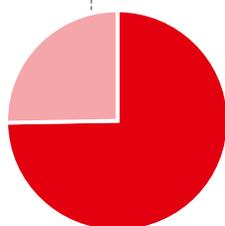
管理職社員数合計
9,711名
平均年齢: 42.6歳

上級管理職社員数*
795名
平均年齢: 47.1歳

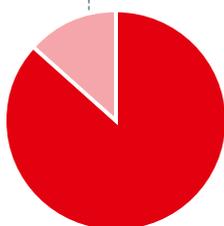
国籍数 77カ国

国籍数 44カ国

女性比率 26.4%



女性比率 13.7%



* 取締役、上級副社長 (Corporate Senior Vice Presidents)
マネジメント・サークル (Management Circles I)、世界的内部監査人協会 (IIA-worldwide)

2008年、私たちは世界的な多様性と包括的な戦略に向けた基本的対策を立て、それを実施しました。そうした中でも、特に実務的な採用の調整を行うことで、あらゆる職務への最終候補者3名の中に、年齢、ジェンダー、国籍に関する多様性が反映されることになるでしょう。

キャリアと家庭の両立といった課題に立ち向かう社員を支援する場合、社員のスキルと能力を最大限に活用することが何よりも大切です。このため私たちは、それぞれの状況を十分に配慮した上で、またそれが経済的に実現可能である場合には、フレックスタイム、パートタイム、在宅といった制度を、今までよりさらに容易に活用できる計画を立てています。この計画の実施により、社員とヘンケルの結び付きが強化されるでしょう。フレックスタイム制は、すでに長い間、多くのヘンケル事業所に導入されています。2008年には、ロシアのモスクワ事業所およびサント・ペテルブルグ事業所にもフレックスタイム・モデルが導入されました。

www.henkel.com/sr2008 → 29

合併の成功

ナショナルスターチ接着剤事業の買収により、私たちは、6大陸40カ国の社員約6000名をできるだけ早くひとつの会社にまとめなければならないという課題に直面しました。2008年4月3日の「合併日」が近づく中、私たちは、ナショナルスターチとヘンケルの企業文化を比較し、両社の社員約1,000名との面談を行いました。両社の企業文化は、相違点よりもはるかに多くの類似点を示していました。ただ、組織モデルと意思決定プロセスが異なるのみでした。私たちは、新たに買収した事業の分析と組織構成の変更に続き、早くも2008年第2四半期末までに、共同開発の基礎を築き上げることができました。

また両社は、人材登用制度においても、似通った手法および理念を有していることがわかりました。事業合併のわずか1年後、統一された人事制度は、早くも人材管理において多くの相乗効果を発揮していました。さらに2009年上半期には、人材データと給与計算システムが統一される予定です。

グローバルエクセレンス(Global Excellence) 効率強化プログラム

2007年には、すでに広範囲に及ぶ長期的変化が、ヘンケルの最も重要な市場で目に見えるものとなっていました。市場における需要の変化に対応するため、ヘンケルの競争力をこれまで以上に高められるよう、構造とプロセスの最適化を目標に、包括的な効率強化プログラムを早期段階で導入しました。2008年2月、グローバルエクセレンス改革プログラムの実施により、結果的に世界のあらゆる地域および事業部門の約3,000の雇用が削減されると発表されました。またこの改革により、いくつかの事業所が閉鎖されます。人材関連の施策は、関連する社員が直面するリスクと困難が最小限となるように、すべて社会的に責任ある方法で実施されています。自然減と早期退職が常に優先されます。また、新しい就職先を探す社員を、他社に推薦したり社外顧問に紹介したりすることで、積極的に支援しています。社員代表団は、各決定が下される前の早期段階でその情報を通知されており、代表団の勧告する内容は、可能な限り考慮されています。



ヘンケルは、特に健康的食習慣、喫煙防止、精神衛生、健康増進活動といった分野での職場における健康管理の取り組みに対し、ENWHP（欧州職場健康増進ネットワーク）から「2008年ムーブ・ヨーロッパ優秀パートナー（Move Europe-Partner Excellence 2008）」認証を取得しました。ヘンケルの全社員が利用できる、健康増進に目標を絞ったプログラムには、広範囲に及ぶ予防策が含まれています。ヨーロッパで行われている「ムーブ・ヨーロッパ」は、ENWHPのイニシアチブであり、職場での生活習慣の改善、健康増進を目的とするキャンペーンです。

www.enwhp.org

改革プログラムの例

ドイツで行われるプロジェクトで最大となるものは、洗濯用洗剤の生産拠点をデュッセルドルフに集中させる計画です。このため、現在240人が雇用されているゲンチン洗剤工場が、2009年後半に閉鎖される予定です。デュッセルドルフにおける液体洗剤生産の拡大によって、90の雇用が新たに設けられ、その枠がゲンチン工場の従業員に対し提供される予定です。ゲンチン工場が持つヘンケルおよび同地域にとっての重要性を考慮し、閉鎖以外の解決策を含めて、あらゆる関連団体と徹底的に話し合いました。しかし、特に生産・輸送コストの高さが、生産拠点の移転を避けられないものにしていました。デュッセルドルフは、重要とされるあらゆる西欧市場に製品を出荷できる中心点に位置しています。ヘンケルは、ザクセン・アンハルト州とともに、ゲンチン工場跡地を有効活用できる投資家を探し出すことに力を尽くしています。現在は、労使ともに、ヘンケル、あるいは他の雇用主かを

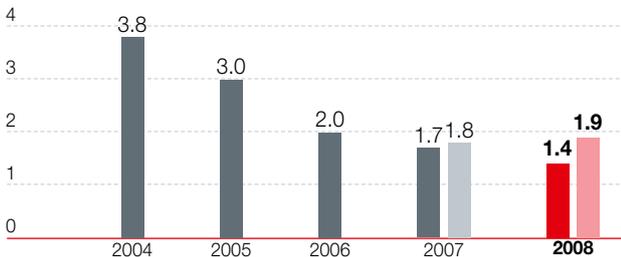
問わず、ゲンチン工場従業員の新しい就職先を探すことに重点を置き、従業員たちに適切な指導を行って求職を支援しています。

2009年、スペインのマルグラットに位置する生産拠点は、工場の生産能力のさらなる効率化を目的として、50キロメートル離れたモントルネス工場に併合される予定です。従業員代表と工場管理者は、準備段階で徹底的に話し合い、移転の際に必要な解決策を定めました。モントルネスに再就職するマルグラット工場従業員は、出勤用移動サービスを利用できます。ヘンケルは、モントルネスに職を得られなかった社員に対し、勤務年数に応じた補償金の支払いを提案し、早期退職制度も導入しました。

労働衛生と安全

100万時間ごとの労働災害数

少なくとも1日の損失が発生したもの(通勤中の事故を除く)



■ ■ ヘンケル社員
■ ■ ヘンケル事業所に勤務し、直接契約していた外部企業社員 (2007年より計上)

ヘンケル社員の98パーセントが計上の対象となりました

早くも2000年に、ゼロ災害という目標を設定することで、ヘンケルは会社全体での労働衛生と安全に対するプライオリティの高さを明確にしていました。私たちはトレーニングとサポートプログラムによって、すでに1998年から2007年の間で、労働災害の件数を86%削減することができました。工場管理者は、グループ全体で基準を満たしながらも、各プログラムを達成し、固有の状況と社員のニーズも配慮した地域的・局地的なイニシアチブと活動に深く携わっています。このためには、早期のリスク特定および災害防止が極めて重要な役割を果たしています。

達成された改善を基にし、2007年を基準年として、私たちは新たな中間目標を設定しました。2012年までに労働災害をさらに20%削減するという目標です。工場に勤務する下請業者も、労働災害による損失日数を記録するシステムにできる限り統合する予定です。さらに、下請業者の従業員も、研修コースを受講します。このコースはヘンケルの安全衛生要件に基づくものです。

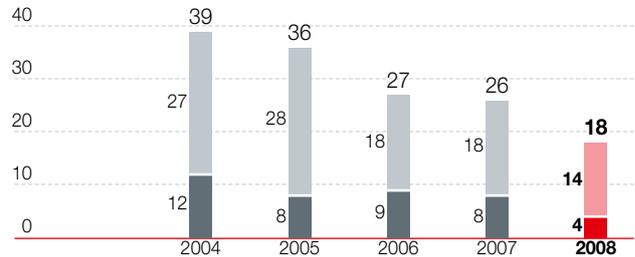
www.henkel.com/sr2008 → 30

死亡を含む不運な事故

労働安全が推進・強化されたことは、ヘンケルで2006年と2007年を通して死亡事故が発生していない大きな理由の一つです。2008年には、ロシアの営業部員が、顧客の元

深刻な労働災害数

50日以上の損失が発生したもの



■ ■ 通常生産活動中の事故
■ ■ 歩行または移動中の事故 (つまずきなど)

ヘンケル社員の98パーセントが計上の対象となりました

へ向かう途中に交通事故で死亡し、また、ヘンケル社員2名と、ヘンケルのために仕事をしていただいていた外部企業社員1名が勤務中に発生した事故で死亡しましたが、いずれの事故も、実際の労働とは無関係でした。これらの事故がOECD(経済協力開発機構)の労働災害定義にある程度当てはまるものであり、また地方紙で報道された経緯もあることから、透明性の確保を目的として、以下に報告いたします。

- ▶ イタリアでの商談に向かう途中、英国のヘンケル社員が乗っていたバイクがドイツで事故に巻き込まれ、社員は死亡しました。バイクの使用は、ヘンケルの出張ガイドラインに適合したものではありませんが、子会社では明示的に禁止されていませんでした。
- ▶ メキシコのウィスキルカンでヘンケルの営業活動をサポートしていた外部企業社員が、DIYセンターのドア落下事故に巻き込まれ死亡しました。この事故は、立ち入り禁止地帯で発生しており、同外部企業社員の作業内容とはまったく無関係でした。
- ▶ 中国江蘇省徐州市の工場の外側で、ヘンケルの外交販売員が窃盗を防ごうとし、窃盗団に攻撃され、緊急サービスが5分以内に現場に到着しましたが間に合わず死亡しました。容疑者は次々に逮捕されました。

社会貢献



2004年のインド洋津波発生後、ヘンケルは、インドのランガナチャプラム(Ranganathapuram)で暮らす90人以上の少年少女のために学校を建設しました。少年たちには大工、電気技師その他の職業訓練が、少女たちには服飾と刺しゅうが、さらにはコンピュータの使用方法も教えられています。また、この若者たちの全員に、適切な一般教育も行なわれています。2008年には、校庭でエコ農業の訓練が始まりました。同じく2008年に、同校は訓練センターとして政府に正式に承認されました。

- » ヘンケルスマイル：社会のための3つの柱
- » 国連ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals)：私たちの貢献
- » MITの10年：記念プロジェクト

ヘンケルスマイル

社会活動は、ヘンケルの企業文化において、重要な役割を果たしています。社会活動は私たちの歴史を通して行ってきた伝統であり、企業価値にしっかりと根付いて、私たちの日常活動に反映されています。ヘンケルスマイルは、直接的な事業利益を越えて広がるヘンケルのコーポレート・シチズンシップ活動をすべて包括する大きな傘となっています。

これは、パートナーシップを基にして共同で決められた解決策は、あらゆる関係者の利益になるという確信に基づいています。私たちは、長期的な向上を実現するために、自助努力に努める人々の支援に集中的に取り組んでいます。社員と退職者は、ヘンケルの世界的コーポレート・シチズンシップ活動の推進力です。彼らは、プロジェクトの編成、管理から積極的な参加にいたるまで、あらゆるヘンケルスマイル・プロジェクトの中心となる存在です。

www.henkel.com/sr2008 →31

私たちのグローバルな活動は、次の3つの柱を中心に構成されています。

- » MIT (Make an Impact on Tomorrow、明日にインパクトを与えよう) – 従業員の取り組み
- » HFI (Henkel Friendship Initiative e.V.、ヘンケルフレンドシップイニシアチブ協会) – 緊急援助基金
- » ソーシャル・パートナーシップ – コーポレートおよびブランドとしての取り組み

ヘンケルは、社会的ニーズ、教育と科学、心身の健康、美術と文化、そして環境分野における活動を支援します。ヘンケルスマイルの3つの柱は、時には相互に補完しながら、相乗効果を生み出すことで、3つの柱の効果を単に合わせるよりもはるかに上回る結果をもたらします。たとえば、ケニアで行われた社員プロジェクトは、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の協力により、Schaumaブランドからの参加を得ることになりました。そして2004年インド洋津波発生後のHFIによる緊急援助措置は、数多くのMITプロジェクトの発展に結び付けました。同プロジェクトは、特に学校とインフラの再建を目的としています。2008年、ヘンケルスマイルの全活動を支援するために支出された金額の合計は、約750万ユーロとなりました。

社会の進展を見通す

2000年、189カ国の国家元首や政府指導者が、国連ミレニアム開発目標と呼ばれる8つの開発目標に合意しました。この目標は2015年までの達成を予定しています。ヘンケルもまた、この目標の達成に貢献しています。2003年国連グローバルコンパクトへの参加は、ヘンケルの姿勢を明確に示すものです。  下記の表を参照。  www.un.org/millenniumgoals

ヘンケルの社員および退職者は、全地域を通して、ミレニアム開発目標達成に貢献する活動に参加します。社員と退

職者によるプロジェクトの半数以上が、発展途上の新興国で実施されます。地元のパートナー組織は、プロジェクトの実現において重要な役割を果たします。全プロジェクト活動の計画および予算策定の段階で、すでに国連ミレニアム開発目標が考慮されるため、プロジェクトの進展を測定し、開発の過程を文書化することが可能になります。ヘンケルスマイル・プロジェクトは、多くの場合、複数のミレニアム開発目標に貢献できるものです。MITプロジェクトは、極度の貧困撲滅、初等教育の普及、小児死亡率の低下、そしてエイズやその他の疾患の克服に集中して取り組んでいます。



8つの国連ミレニアム開発目標に関連するヘンケルスマイル・プロジェクトの抜粋

ミレニアム開発目標	2008年ヘンケルスマイル・プロジェクト
1. 極度の貧困と飢餓を撲滅する	<ul style="list-style-type: none"> » ペルー：リマの託児所で、日中の子供たちの世話、温かい食事を毎日提供 » ミャンマー：孤児と障害児50人に6か月間の米を支給
2. 少年と少女に対して初等教育を平等に普及させる	<ul style="list-style-type: none"> » ベトナム：保育園の設立；ホーチミン・シティの栄養不良の子供たちに食事の支給と通学の機会を提供 » ウガンダ：カバレのRushocka Parish全寮制女子高への支援の継続、孤児と障害児360人への教材配布を含む » トルコ：ガジアンテップの家庭でストリート・チルドレンを教育
3. 男女平等と女性の地位向上を促進する	<ul style="list-style-type: none"> » グアテマラ：ベラバスの学校に実験室とコンピュータ・ルームを設置し、先住民民族マヤの少女250人に技術教育を与えることで、その雇用機会を改善 » 米国：テネシー州ナッシュビルで、問題を抱える十代の少女たちに宿泊施設を提供し教育を施す » インド：バリヴァアラヤ統合センターを支援、身体的・精神的障害児を多方面からケア
4. 子供の死亡率を下げる	<ul style="list-style-type: none"> » ネパール：移動医師団によりカトマンズの学校、家庭、孤児院で子供たちを毎年診療 » ブルガリア：肺疾患向け吸入器と脈拍計を寄付し、ソフィアの小児病院を支援 » トルコ：マルディンで未熟児向け保育器を寄付
5. 妊産婦の保健を改善する	<ul style="list-style-type: none"> » コンゴ：「Arzneibrücke Ehingen-Kinshasa(エーインゲンとキンシャサ間の薬の橋)」の協力を得て、キンシャサ付近の2つの病院に薬剤を供給し支援 » 中国：ラサでスクリーニングと外科手術により、白内障または緑内障を患う300人以上の母親の視力を回復
6. HIV/AIDS、マラリア、その他の病気に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> » チリ：サンティアゴのサンタクララ財団に、HIV感染者、エイズ患者である子供たちのための薬剤、食糧、修理用材料を支給 » タイ：ロップリー県のBaan Gerdaチルドレン・ビレッジで、エイズ患者である孤児の治療と投薬を実施
7. 環境持続性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> » ドイツ：Persilブランドが立ち上げた「Project Futurino」により、自然と環境をテーマにした156の教育的プロジェクトを支援 » 米国：ペンシルバニア州グラッドウインのリバーバンド環境教育センター（Riverbend Environmental Education Center）で、都会の子供たちの自然に対する意識の向上を図る
8. 開発に向けた国際的なパートナーシップを築く	<ul style="list-style-type: none"> » ケニア：キスム近郊のエイズ患者である孤児を収容するBethsatha小児病院が、Schaumaのブランドの参画により拡大、設備を改善。 » エルサルバドル：サンタ・テクラ公立高校に工作機械向け数値制御装置を寄付



ヘンケルは、2008年5月に発生した中国四川大地震の犠牲者を支援するために、HFIを通して合計15万ユーロを寄付しました。また、中国国内のヘンケル事業所と緊密に連携して、現金や製品の寄付とMITプロジェクトによる救急援助および再建支援も行っています。



ヘンケルは、ナイロビのスラム居住者の生活条件改善に尽力するドイツのトリニア大学地理学部を3年連続で支援しています。ヘンケルは、学校の授業で使う教材の購入と衛生施設の建設に資金を提供しています。

社員の11年に及ぶ活動

1998年以来、ヘンケルはMITイニシアチブで従業員ならびに退職者のボランティア活動を、現物支給や製品、金銭の寄付、就業時間の免除、専門家の助言などさまざまな形で支援してきました。2008年までに、MITのプロジェクト数は7,000件以上を数えています。1998年以来、MITを通じて5,000名を超える従業員と退職者が110を上回る国々で活動し、世界で何万という人を援助することができました。

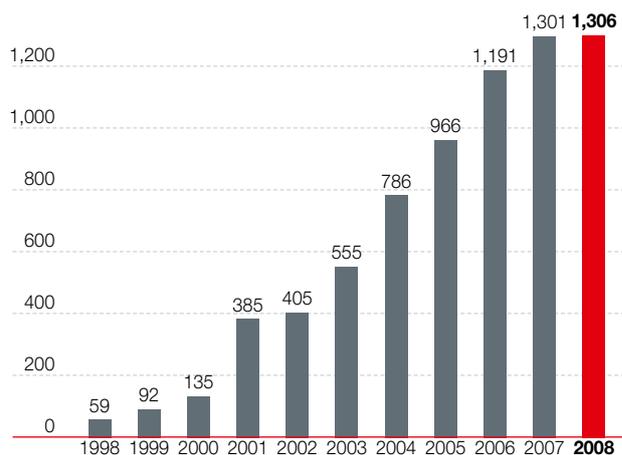
www.henkel.com/sr2008 → 32

MITの重要性は、支援金額ではなく、プロジェクトの実施方法にあります。MITプロジェクトは、ボランティアとして従業員と退職者が参加すること、それぞれの思いやりや工夫、そして彼らの費やす時間によって、何よりもその重要性が証明されるのです。MITの中心は、従業員と退職者です。彼らが企業と事業を運営する地域社会との架け橋の役割を果たします。ヘンケルはこのようにして、責任の所在と透明性が確保された資源の投入を、最も緊急に必要な場所に対して確実にしているのです。

2008年5月には、世界中から120名の従業員と退職者がドイツ・デュッセルドルフで開催されたラウンドテーブル会議に参加し、MITの10周年を祝いました。会議では、従業員と退職者は互いの経験を分かち合い、MITの一層の進展を促す機会となりました。

MIT(明日にインパクトを与えよう)プロジェクト

各年のプロジェクト数



MITの10周年を記念して、ヘンケルは、グアテマラのプロジェクトを支援するために10万ユーロを支給しました。このプロジェクトは、86の候補の中から選ばれたものです。農村に暮らす120の家庭に対し、自助努力に必要な支援を行います。この支援には、子供たちの学校教育、清潔な水の供給、保健センターの建設、農業生産性の改善が含まれます。グアテマラ出身のヘンケル社員が、現地のパートナー企業HELPS Changing Livesとチームを組んでプロジェクトを実施しています。このプロジェクトには、グアテマラの地域に密着したMITネットワークに加え、他のMITネットワークのヘンケル社員も参加しています。

ステークホルダーとの対話



ヘンケルは、スペインのサラゴサで開催された2008年万国博覧会の公式のスポンサーを務めました。テーマは「水と持続可能な開発」でした。万博への参加により、私たちの水資源保護への取り組みはさらに注目されるようになりました。ヘンケル・デーの「ブランドパレード」を観覧した訪問客は、ヘンケル製品が水資源の保護に役立つことを知りました。

» 実行可能な解決案のための対話

» 持続可能な開発のための教育

ステークホルダー（利害関係者）との開かれた対話

実行可能な解決案は、各地域、より広域の地域、そして国際的なレベルであらゆる社会団体とひたすら対話することから生まれるものです。このため、ヘンケルはお客様、消費者、サプライヤ、社員、株主、地域共同体、政府当局、協会、非政府組織（NGO）、そして科学者を含むステークホルダー全員との対話の機会を常に探し求めています。

総合的で体系的な対話

サステナビリティに結び付く問題が世界的なものであるにもかかわらず、地域の優先課題とその視点はそれぞれ大きく異なっています。そのため私たちは、ステークホルダーとの意見交換を自分たちの職務、事業部門、地域の組織に取り入れました。このようにして、ヘンケルのエキスパートと適切なステークホルダーの団体との間で、さまざまな課題に関

する話し合いが持たれるようにします。評価、実行が行われる現地で対策や解決法が生み出されます。また、対話の方法、テーマ、期間、集中度は個々のステークホルダー団体と、その特定の課題に沿ったものとなります。

対話は、相互理解のための土台を作り、ヘンケルの新しいアイデアが生まれる源となります。ヘンケルにとって、対話はイノベーションと危機管理のために重要な役割を果たします。対話により、それぞれの市場において開発すべき要件と課題を早期段階で特定することが可能となるからです。

調和に向けた対話

私たちとパートナーは、国際的なイニシアチブをとる中で、資材および原料の責任ある購入など、さまざまな解決策を決定します。法人のお客様と意見交換を行うことにより、資源保護に重要な貢献を果たせるよう、工程を改善することができます。消費者向け電話窓口、アクション・デーと市場調査プロジェクトを通じた消費者との直接的な対話では、何よりもまず資源の節約につながる製品の使用方法に関する



Henkel・インド事業所は、2005年以来、Henkel・エコ嘆願書という名目で、全国学校コンテストを毎年開催しています。優勝者には、Henkel環境配慮賞 (Henkel Enviro Care Award) が授与されます。2008年のコンテストのテーマは「水」でした。2,000人以上の参加者から選ばれた優勝候補6人が、Henkel社員と非政府組織で構成された審査員に向けて、テレビ会議でアイデアを発表しました。優勝は、屋内植物を密封ガラス容器に入れ水の蒸発を防ぐことを発案した、ニューデリー Father Angel SchoolのSiddharth Banerjeeに贈られました。

情報を皆様に提供すると同時に、皆様から製品開発者への重要なフィードバックを受け取ることができます。私たちは、世界中の社員の意識と、日常的活動の中に、責任ある事業

を実践するという考え方をしっかりと根付かせるため、研修コースとオンライン作業モジュールを開発し、その様子をイントラネットと社内報で報告しています。

統合型対話アプローチの例 -ステークホルダーと足並みをそろえる

ステークホルダー	テーマ
社員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インド: 気候変動への注意を喚起するため、チェンナイ事業所の社員が、2008年8月8日に「88888消灯作戦 (Lights Out 88888 Campaign)」を開催。8時に8分間の消灯を実施。 ▶ 米国・カナダ: 季刊ニューズレター「Going Green」が、工業用接着剤部門の社員に向け、お客様に関連するサステナビリティのテーマと傾向を掲載。
消費者とお客様	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イタリア: Henkelは、「一歩先に立とう (Differentiate yourself!)」キャンペーンにて、10都市のスーパーで持続可能な消費および廃棄物抑制に関する情報を伝達。 ▶ ドイツ: Henkel・パッケージング・フォーラム：社内外のパッケージング専門家が持続可能なパッケージングに関するソリューションを開発。
アナリストおよび投資家	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドイツ: 環境、社会、統制 (ESG) という側面を考慮：Henkel社員が金融専門家と、資本市場において非財務報告書が果たす役割について論議を交換。
政治家、政府当局、非政府組織	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スペイン: 調査・マーケティング担当社員が、国際自然保護連合 (IUCN) の世界自然保護フォーラム (World Conservation Forum) で、持続可能な消費について非政府組織と議論。
科学者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 米国: 2008年に開始した、Henkelの研究者たちとアリゾナ州立大学の協力による、ライフサイクルの分析。
一般市民と地域共同体	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ニュージーランド: Henkel社員が、リサイクルへの注意を喚起する学校行事「ごみをファッションへ (Trash to Fashion)」で、製品廃棄物を収拾。

www.henkel.com/sr2008 →33

持続可能な開発のための教育



サステナビリティに対する取り組みは、Henkelが影響を及ぼす範囲外であったとしても、等しく重要な課題です。このためHenkelは、2008年に、特に「持続可能な開発のための教育」のテーマを取り扱う多くのプロジェクトとキャンペーンを開始しました。

1つの例となるのが、ドイツ発信のポータルサイト「未来を救おう (Save your Future)」です (現在はドイツ語のみ、英語版は間もなく公開予定)。これにより、若者たちはサステナビリティというテーマを共有し、共同で行動を起こしたりイベントを組んだりすることが可能になります。

www.save-your-future.com

私たちは、ドイツのロストック大学、またオルデンブルク大学と協力して、化学の授業で使うための拡張教材を作成しました。教材には、洗濯する際の環境への配慮をテーマとした、簡単に費用のかからない実験が掲載されています。この教材はインターネットから無料で入手でき、現在、ドイツ全国で教師向けの実務講習に使用されています。英訳も完了し、国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ) と提携して、国際的に配布できる教材とするために、他言語への翻訳も計画されています。

www.henkel.com/sr2008 →34

外部評価

ヘンケルのサステナビリティおよび企業の社会的責任においてヘンケルが示した業績は、2008年にも引き続き社外の専門家に感銘を与えました。

www.henkel.com/sr2008 → 35

評価と指標



チューリッヒ／ニューヨーク:2008年、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスのDJSI World(全世界)およびDJSI STOXX(欧州)が、非耐久性家庭用品部門におけるサステナビリティの指導者としてヘンケルを再び選定しました。



ロンドン:8年連続で、ヘンケルがフィッツィ・フォー・グッド (FTSE4Good) の国際的エシカル・インデックスの構成銘柄に選ばれました。



パリ:2008年、前年に続き、エティベル・サステナビリティ・インデックスのバイオニア・クラス構成銘柄となる世界200社の中の一社にヘンケルが選定されました。

ECPI E.Capital Partners Indices

ミラノ:ヘンケルは、ECPIエシカル・インデックスEUROおよびECPIエシカル・インデックスGLOBALに再度選定されました。この2つのエシカル・インデックスは、E. Capital Partnersにより1999年に創始されたものです。



SARASIN

バーゼル:2008年、サラジン銀行 (Bank Sarasin) が再び、ヘンケルの企業のサステナビリティ・パフォーマンスを「高い」と評価しました。

受賞と格付

フランクフルト・アム・マイン:金融アナリストの専門職協会であるドイツ財務分析・資産管理協会(DVFA)と、経済誌「Wirtschaftswoche」は環境、社会的責任、企業ガバナンスに



2008年12月5日、デュッセルドルフで開催された第1回ドイツサステナビリティ総会で、ヘンケルはドイツで「最も持続可能なブランド」賞を受賞しました。ヘンケルが選ばれた主な要因の1つは、極めて早くからサステナビリティという課題への取り組みを始め、包括的なCSR戦略を立てていたという点でした。ヘンケル最高経営責任者カスパー・ローステッド(写真右)、ランドリー&ホームケア部門担当上級副社長フリードリッヒ・スタラ博士が、ヘンケルを代表して受賞式に臨みました。

において最高の業績を示したドイツ企業に毎年ESG(環境・社会・ガバナンス)賞を贈呈しています。2008年3月、ヘンケルは、ドイツ株価指数DAXのビジネス部門で同賞を獲得しました。

ウィーン:オーストリア企業市民活動センター(CCC-A)は、大企業100社のCSRへの取り組みに対する第3回の評価を行いました。2008年4月、ヘンケル中東欧は、セクターの優勝者となっただけではなく、100点満点中82点を獲得し、総合順位で第1位となりました。

ニューヨーク:2008年6月、ヘンケルはニューヨークのエシスフィア・インスティテュート(Ethisphere Institute)と経済誌フォーブズの「世界の最も倫理的な企業」ランキングに選ばれました。このランキングでは、企業をコーポレートガバナンス、イノベーション、経営幹部の指導スタイル、内部管理システム、評判管理および企業市民活動といった分野で評価します。

サステナビリティの報告

2008年12月、国連グローバルコンパクトは、私たちの2007年サステナビリティレポートを、傑出した年次経過報告書に認定しました。報告書を提出した法人会員約5,000社中、グローバルコンパクト10原則の実施に関する「特筆すべき活動報告(Notable Communications on Progress)」リストに選出された企業は、その年ではわずか240社でした。

www.unglobalcompact.org

連絡先、制作者、その他の刊行物

ヘンケル社お客様窓口

企業広報室(ドイツ本社)
電話：+ 49 (0)211-797-35 33
ファックス：+ 49 (0)211-798-24 84
Eメール：ernst.primosch@henkel.com

サステナビリティ／CSR管理部

電話：+ 49 (0)211-797-36 80
ファックス：+ 49 (0)211-798-93 93
Eメール：uwe.bergmann@henkel.com

投資家向け広報部

電話：+ 49 (0)211-797-39 37
ファックス：+ 49 (0)211-798-28 63
Eメール：oliver.luckenbach@henkel.com

インターネット・アドレス

www.henkel.com
www.henkel.com/sustainability
www.henkel.com/ir
www.henkel.com/smile

PR: 02 09 10.000

ISBN: 978-3-941517-02-8

発行者

Henkel AG & Co. KG a A
40191 Düsseldorf, Germany
© 2009 Henkel AG & Co. KG a A

編集・調整:

Corporate Publications: 企業出版部:
Jan-Dirk Seiler-Hausmann, Kathrin Zachary,
Wolfgang Zengerling

サステナビリティ／CSR管理部:
Eva-Maria Ackermann, Uwe Bergmann,
Ines Biedermann, Christine Schneider

英訳、調整、校正:

ExperTeam®, Neuss: Dave Brandt, Alice Milne,
Susan Salms-Moss

構想とデザイン: Kirchhoff Consult AG, Hamburg

写植: workstation gmbh, Bonn

写真・イラスト: Henkel, Oliver Blobel,
Caterine Bollinger, Olaf Döring, Andreas Fechner,
Tino Gil, Steffen Hauser, Christian Kruppa,
Bernhardt Link, Rolf Vennenbernd

その他の刊行物は、インターネットからダウンロード可能です。

年次報告書、四半期報告書、ビジョン・バリュー、行動規範、
チームワーク及びリーダーシップ規範、企業サステナビリティ
規範、研究誌「明日を見据えて (in view of tomorrow)」、社史、
ヘンケルスマイル

 www.henkel.com/publications



Responsible Care®

本サステナビリティレポートは、製本にヘンケルの接着剤を使用しています。また、表紙を飾るカラーズ作品は、300人以上のヘンケル社員のポートレートに、ヘンケルのトップ・ブランド製品のロゴと写真を組み合わせたモザイク画です。写真の使用を許可して下さった全社員に感謝します。

製品名はすべて Henkel AG & Co. KGaA(デュッセルドルフ) またはその関連会社の登録商標です。

本書は、Henkel AG & Co. KGaAの経営陣による現在の予測および推測に基づく、将来予想に関する記述を含みます。将来予想に関する記述は、期待する、意図する、計画する、予想する、推測する、考える、予測する、予想するなどの単語の使用を特徴とします。このような記述は、いかなる場合も、それらの期待が正確に実現されることを保証するものではありません。Henkel AG & Co. KGaAとその関連会社が実際に達成する業績および決算報告は、数多くのリスクと不確実性に依存するため、この将来予想に関する記述とは大幅に異なる場合があります。これらの要因の多くは、将来の経済環境や、競合他社その他の市場活動など、ヘンケルの統制範囲外にあり、事前に正確な予測を行うことは不可能です。ヘンケルは、将来予想に関する記述のいかなる更新も計画または保証しません。

Henkel

A Brand like a friend